

# 村上市 猿沢地域 住民アンケート 分析レポート

～結果から何が見えてくるか？～

令和3年12月

NPO法人 都岐沙羅パートナーズセンター

# 中学生以上の全住民アンケートの実施

配布数：1,383通

回収数：1,234通

回収率：**89.2%**

**かなりの高回収率！**



**地域住民の意向が十分に反映されているデータである**

朝日地区まちづくり協議会連絡会議／猿沢地域まちづくり協議会

## 令和3年度 住民アンケート

- 本アンケートは、猿沢地域に暮らしている中学生以上の全住民を対象に実施するものです。一人ひとりからお考えを伺うことで、世代別・男女別の考え・ニーズを把握・整理し、まちづくり協議会のこれからの取り組みに反映していきます。
- 回答は無記名でお願いします。結果は、個人が特定されない形で集計・分析します。
- アンケート用紙は、お一人ずつ提出していただきますので、家族で意見が違って構いません。思っていることをそのまま回答してください。

問1 あなたの年齢と性別について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

(年齢)	1. 10～19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
	5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70～79歳	8. 80歳以上

(性別)	男性	・	女性
------	----	---	----

問2 家族構成について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. 1人暮らし	2. 夫婦のみ	3. 二世帯同居（親と子）
4. 三世帯以上同居（親と子と孫など）	5. その他	

問3 あなたの仕事にあてはまるものに○をつけてください。

1. 農業	2. 林業	3. 漁業
4. 自営業	5. 会社員	6. 公務員・団体職員
7. パート・アルバイト	8. 専業主婦(夫)	9. 中学生
10. 高校生・高専生	11. 大学生・短大生・専門学校生	
12. その他( )	13. 無職	

※仕事されている方及び学生の方は、以下もお答えください。

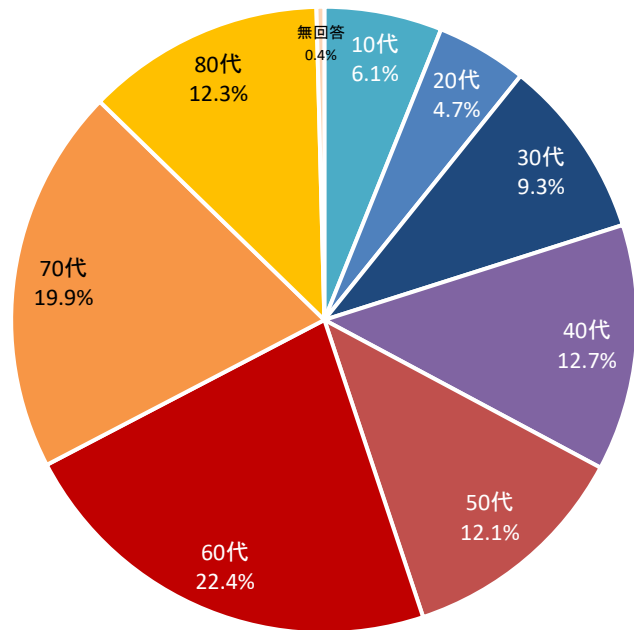
問3-2 休日はいつですか？（祝日を除く）

1. 土曜（毎週）と日曜	2. 土曜（隔週）と日曜	3. 日曜のみ
4. 平日	5. 不定期	

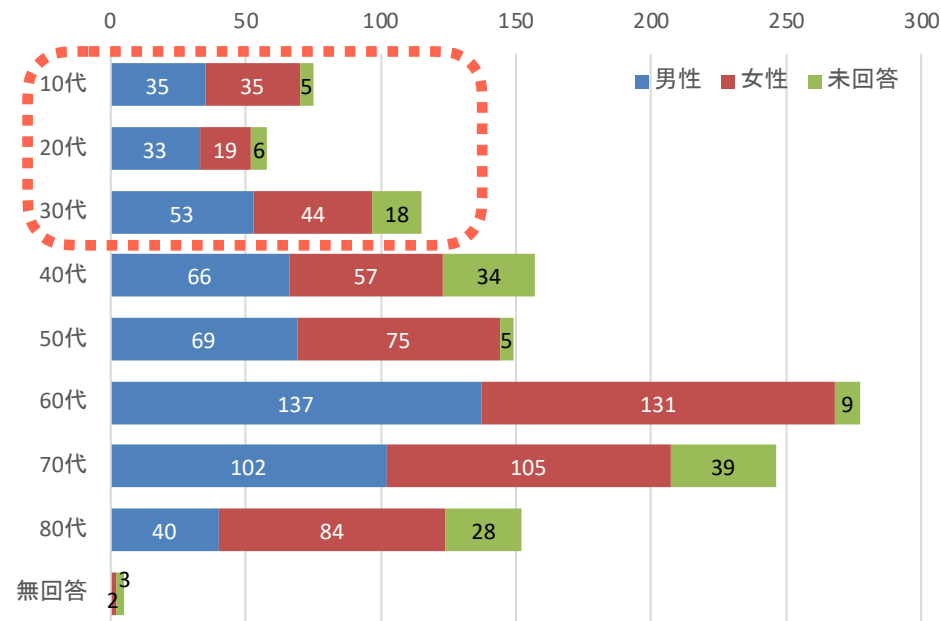
問4 日常の**主な交通手段**は何ですか。あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. 自動車(自分で運転)	2. 自動車(送迎してもらう)	3. バイク(原付を含む)		
4. バス	5. タクシー	6. 自転車	7. 徒歩	8. その他( )

回答者属性 (年代別)



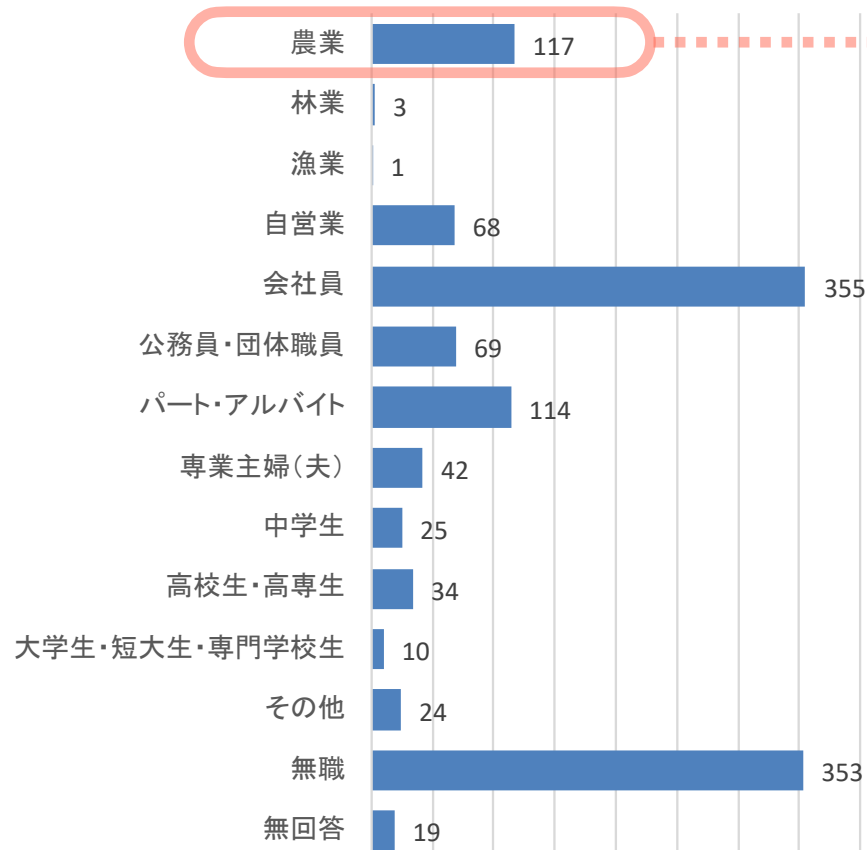
回答者属性 (年代別×男女別)



若者・中堅世代は少数派。多数決では年配層には叶わない。



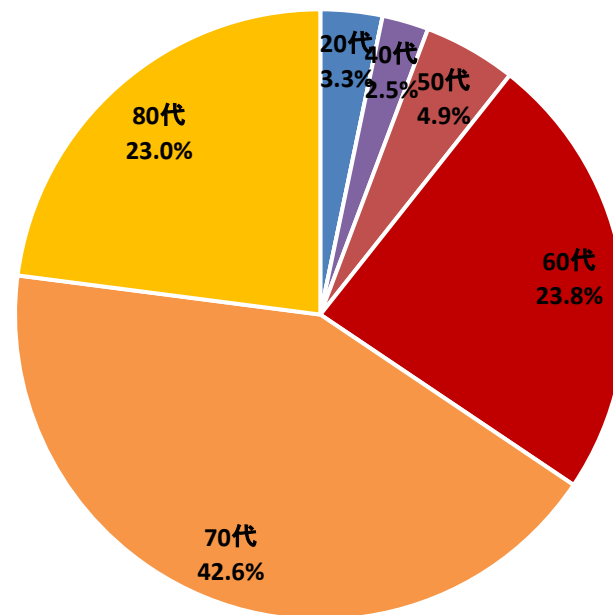
**世代別に意見をまとめないと埋没してしまう！**



回答者属性 (職業)

農業従事者の年代構成

※専業117人+兼業5人=122人



**農業従事者の89.3%が60代以上**

農業従事者の年代構成 (人数)

年代	農業従事者
10代	0
20代	4
30代	0
40代	3
50代	6
60代	29
70代	52
80代	28
計	122

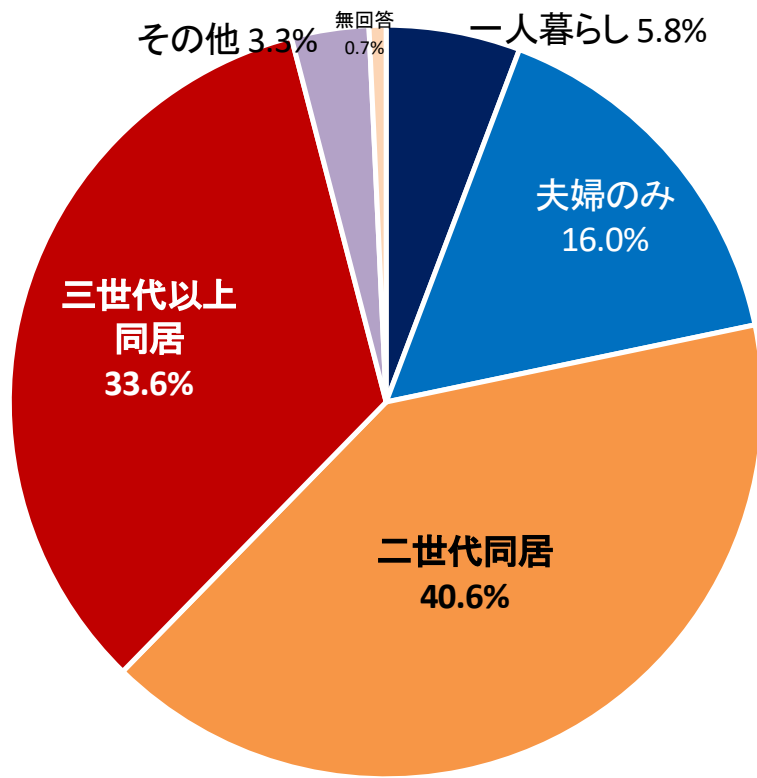
**20年後は40人程度!?**

農地の維持管理はどうなりますか？

# 回答者属性 (家族構成)

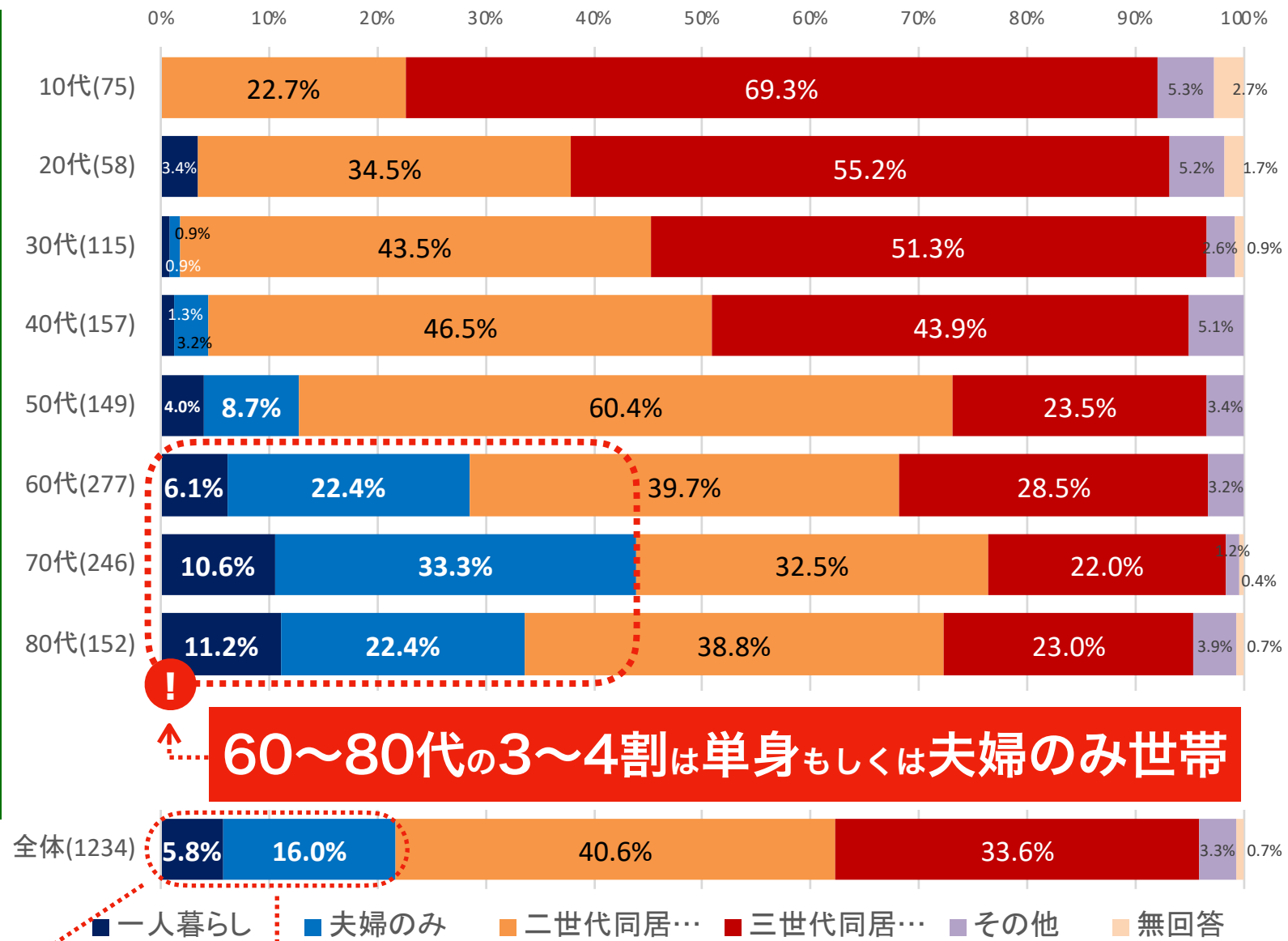
村上市猿沢地域 (2021)

回答者属性 (世帯構成)



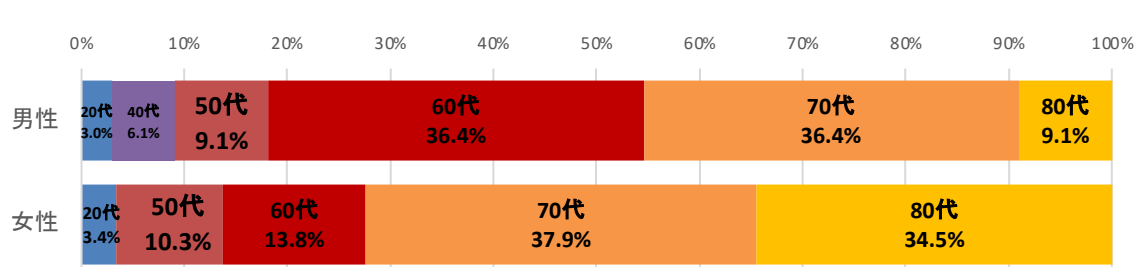
7割以上が親子世帯

年代別の家族構成



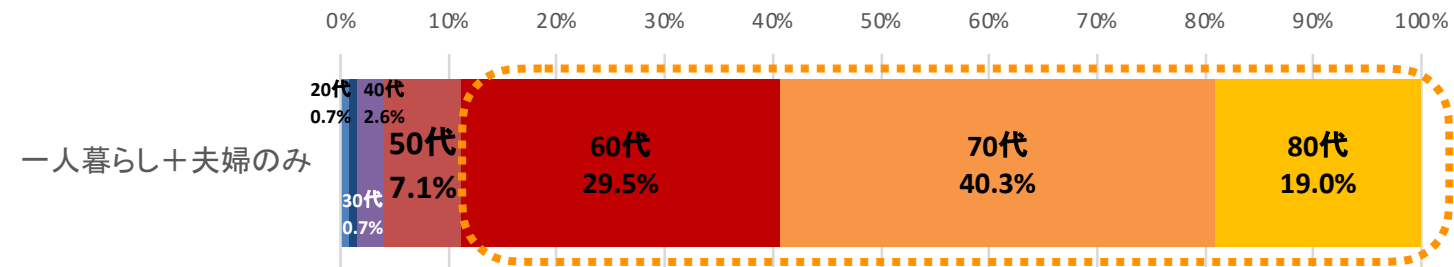
60~80代の3~4割は単身もしくは夫婦のみ世帯

単身世帯の年代構成



男性は60・70代、女性は70代が最多

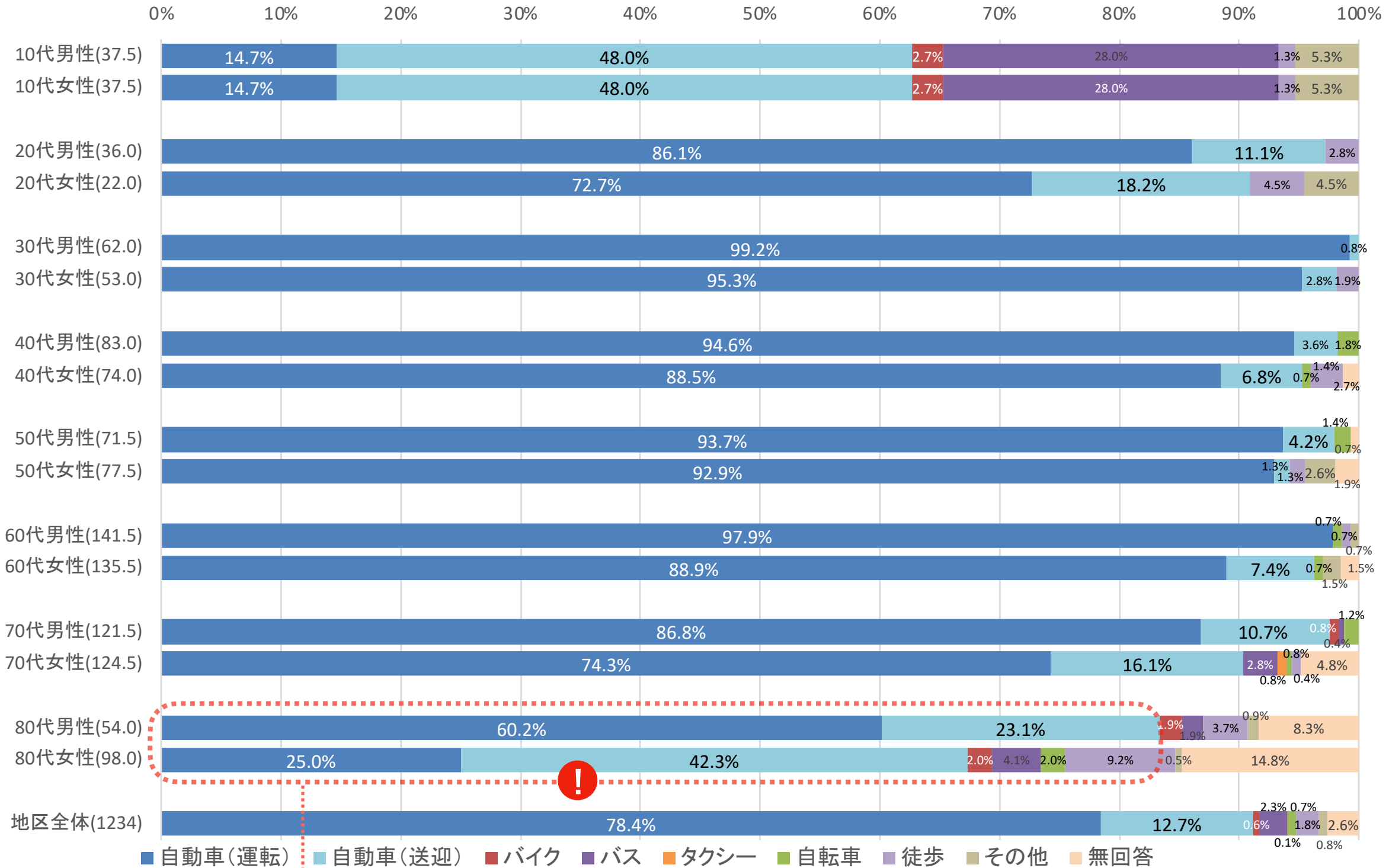
単身+夫婦のみ世帯の年代構成



単身及び夫婦のみ世帯88.8%が60代以上

# 年代別・男女別の日常的な交通手段

村上市猿沢地域 (2021)



日常生活での移動が困難になる人の数は確実に増加する

将来的に送迎する側の人数が減少すると...

80代になると自分で車の運転をする人の割合が減少

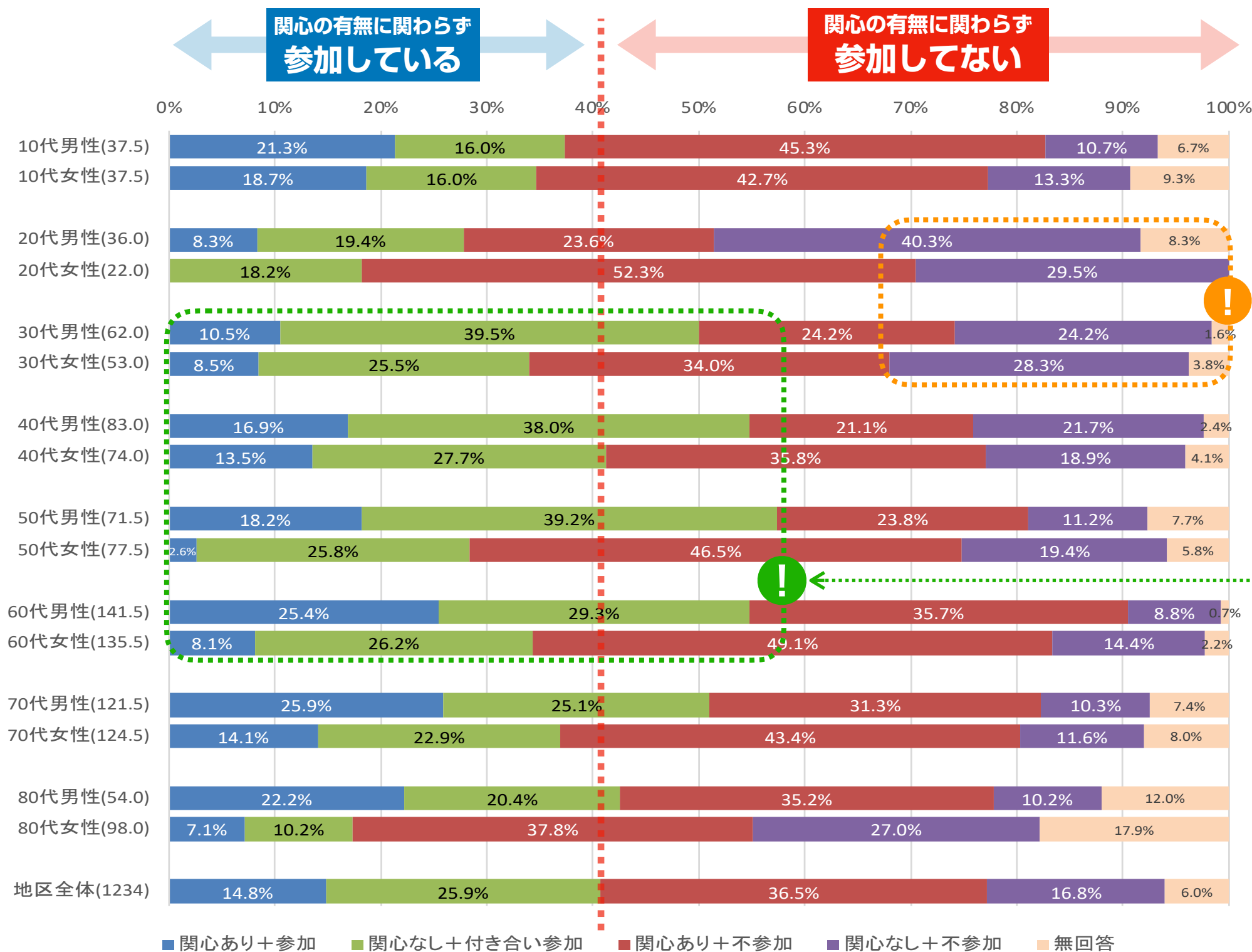


家族の送迎で高齢者の移動手段が賄われている



# 地域活動への関心（年齢別・男女別）

村上市猿沢地域（2021）



**【注意！】**  
**20・30代は**  
**関心なし+不参加**  
**が1/4以上いる**

※20代男性は4割

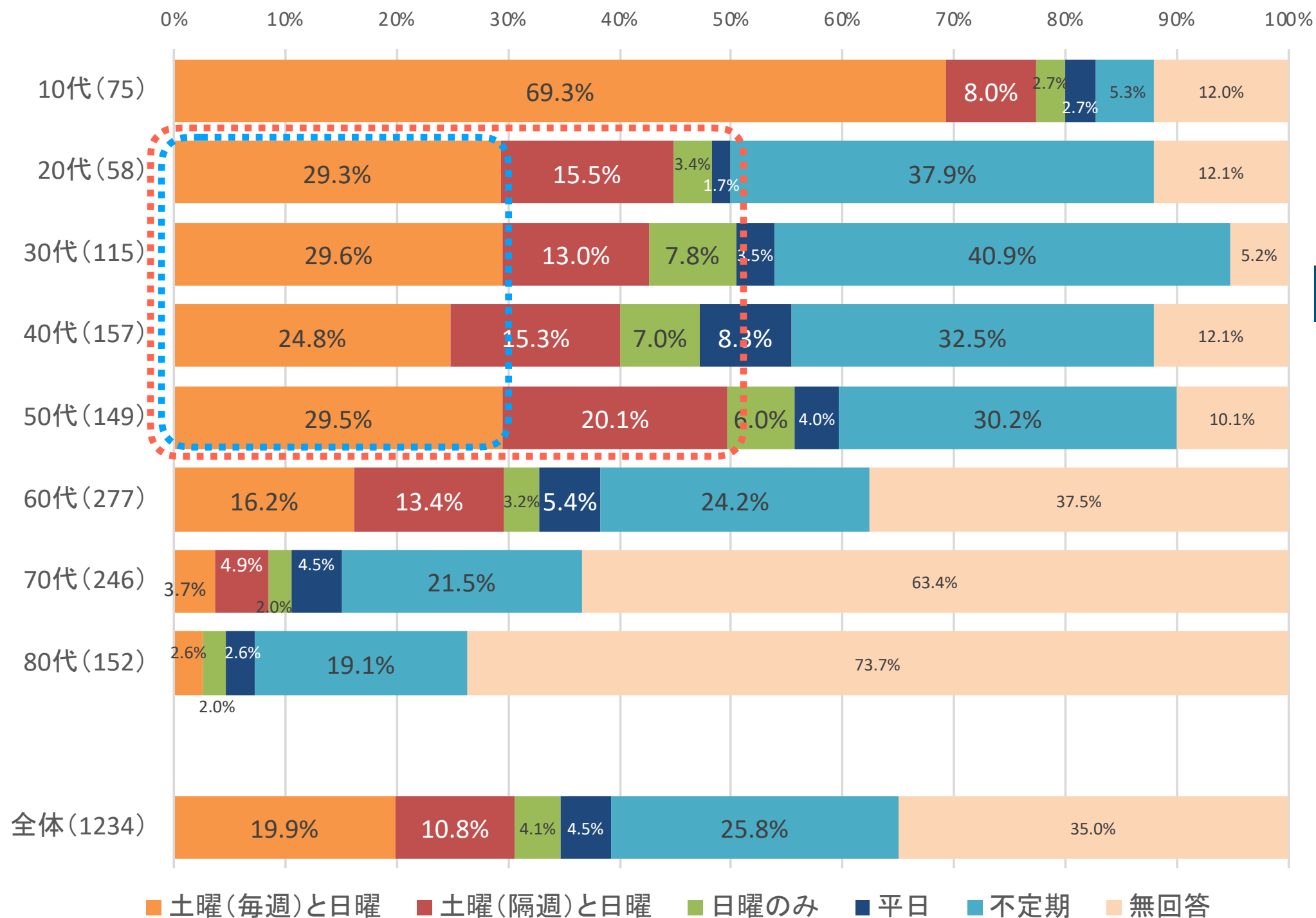
現状は  
**30～60代**が頑張っている  
 ので何とか回っている。

50代以下でも  
 関心あり+不参加が  
 2～5割いる

**必ずしも「地域活動に参加していない＝関心が無い」という訳ではない。**  
**女性は「関心があっても参加していない」割合が男性に比べて高い。**

# 休日はいづか？（年代別）

村上市猿沢地域（2021）



**20～50代**  
 土曜日が毎週休み  
**3割**

日曜日が毎週休み  
**約半数**

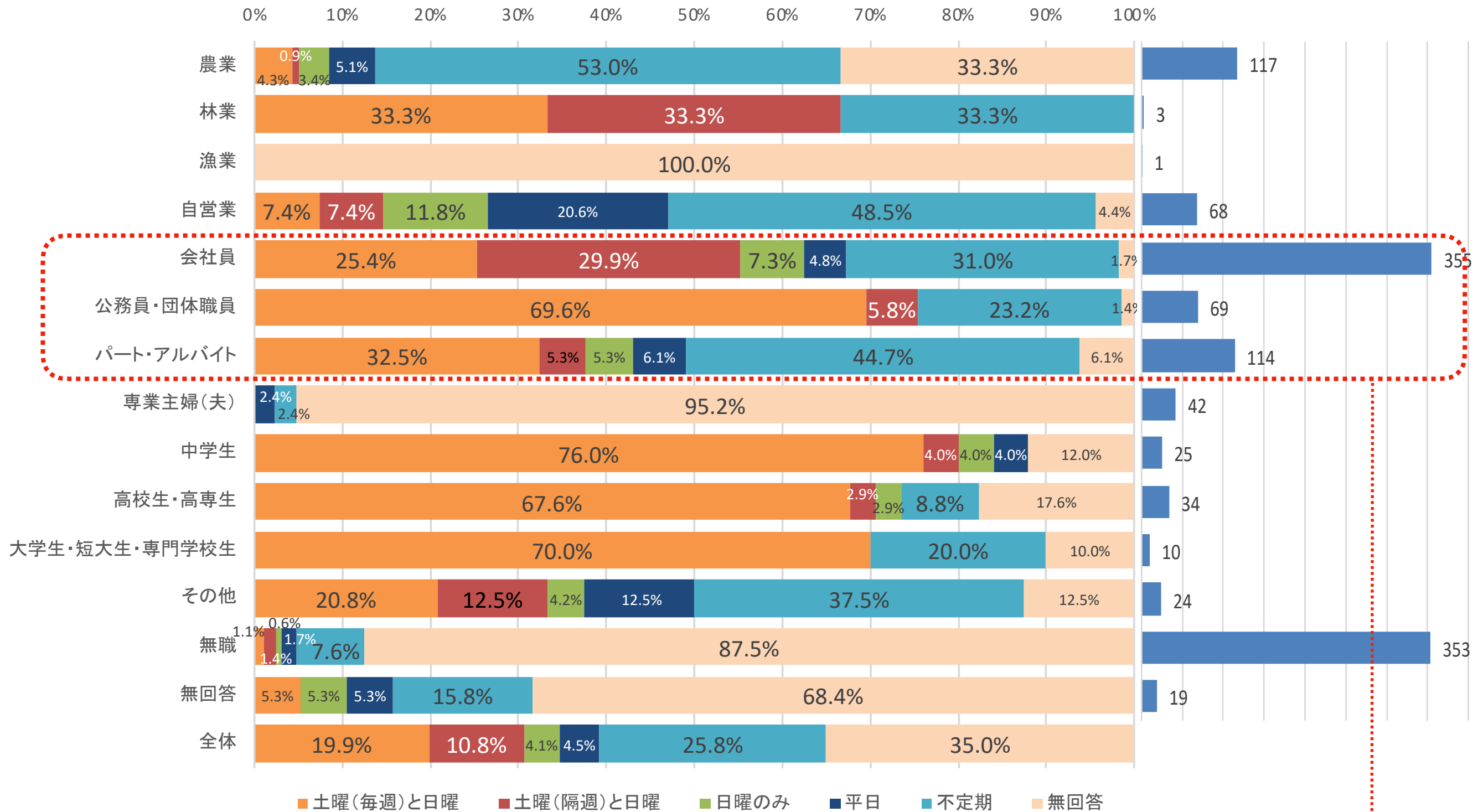
休みが平日・不定期  
**3～4割**

**20～50代は必ずしも土日は休みではない**

**この世代の参加を求めるのであれば、配慮が必要！**

# 休日はいつか？（職業別）

村上市猿沢地域（2021）

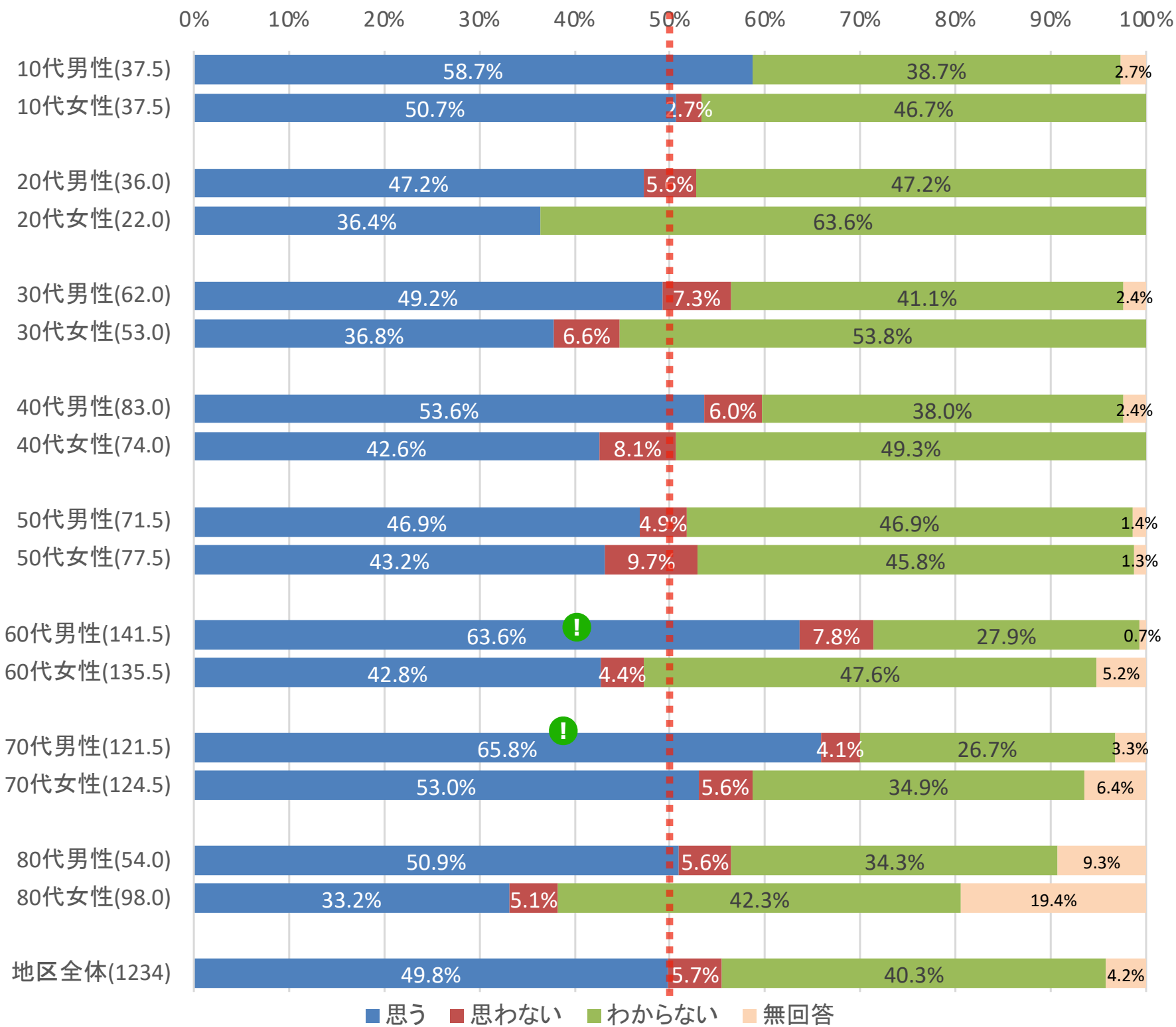


**勤め人であっても土曜日が休みであるとは限らない。**

パート・アルバイトの半数以上が週末は休みではない



# 女性・若者の声を反映する必要性 (年代別×男女別) 村上市猿沢地域 (2021)



50代以下も  
地域平均とほぼ同じ傾向

+

60~70代男性も  
6割以上が必要と回答

||

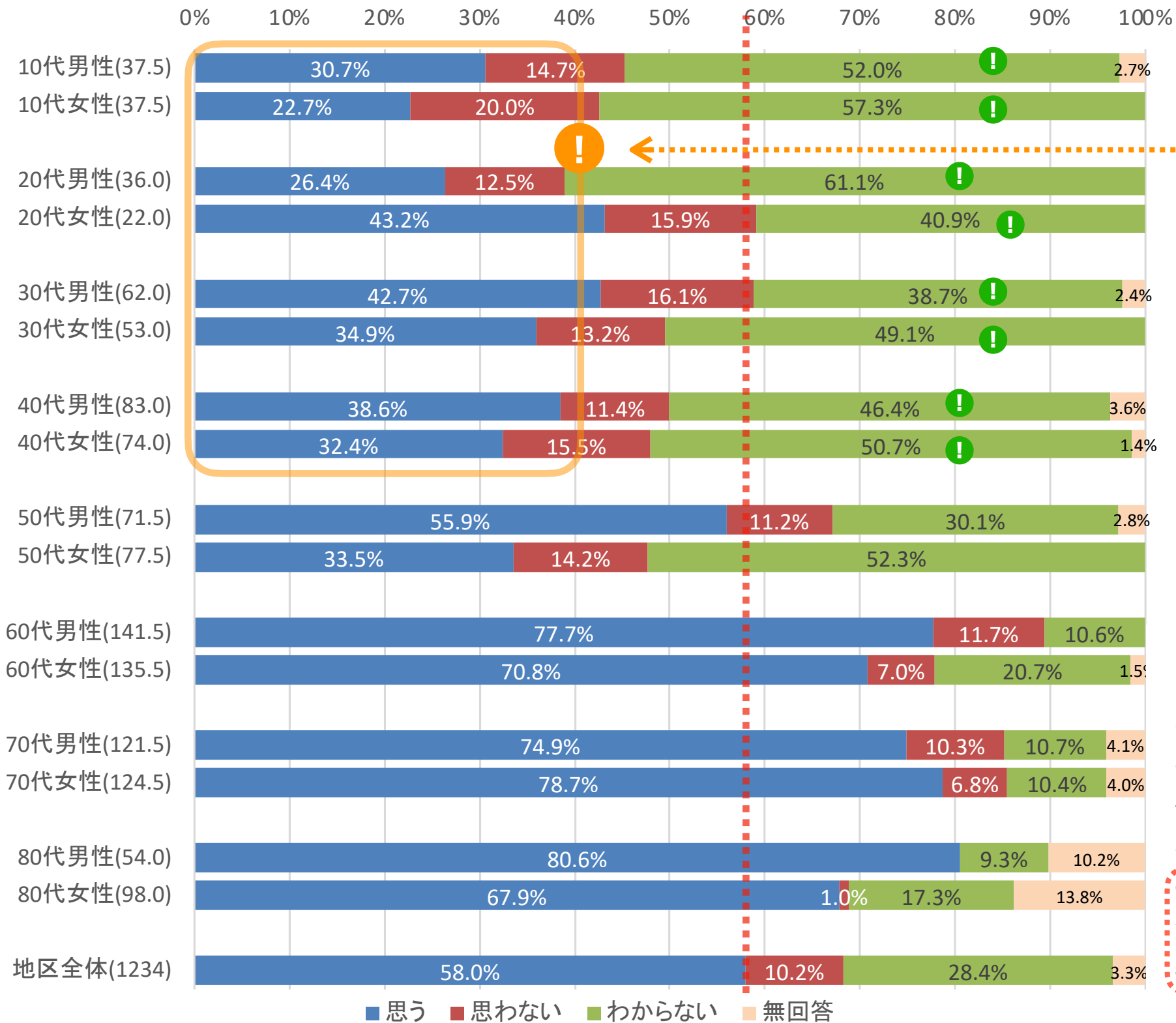
お互いにその気はある！



声を反映させる機会の  
充足・工夫が  
求められている！

地域全体では、半数が「必要」と回答。

# この地域に住み続けたいと思うか？ (年代別×男女別) 村上市猿沢地域 (2021)

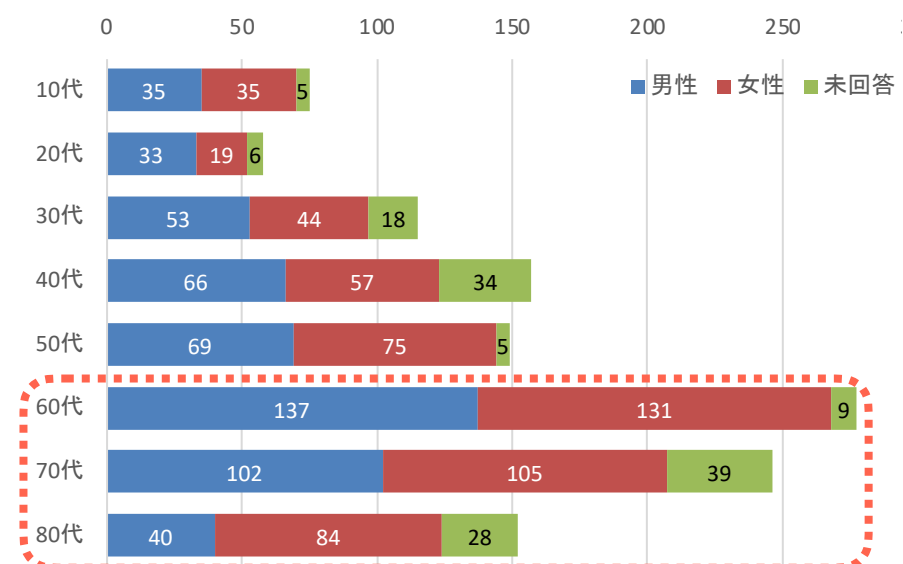


40代以下は  
地区平均以下

50代女性も平均以下

3~6割が  
わからないと回答

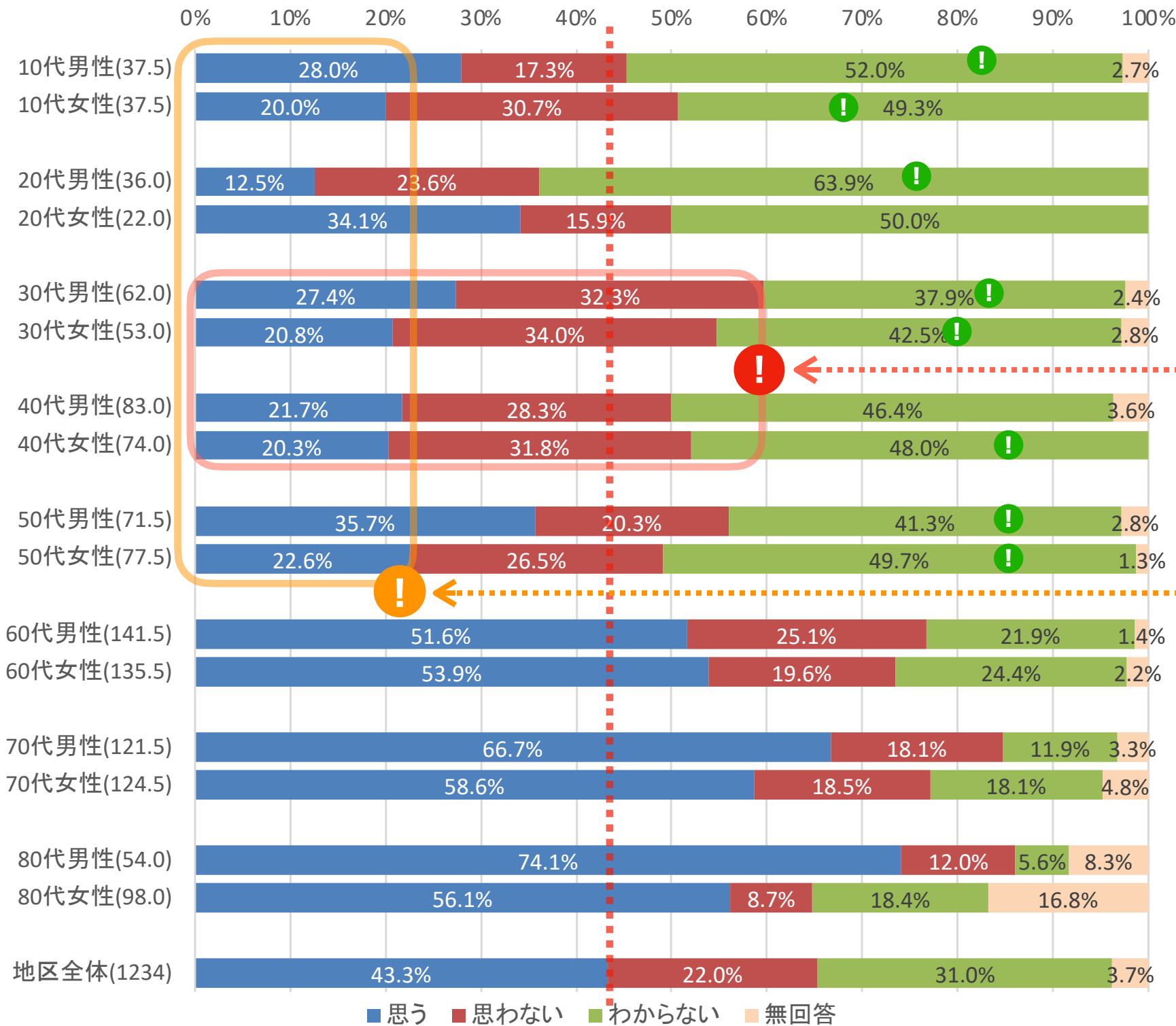
これからの取り組み次第！



多数派の意見が色濃く  
反映された結果

地域全体では「住み続けたいと思う」は約6割

# 自分の子どもにも住み続けてほしいと思うか？ (年代別×男女別)



30~40代は、  
住み続けてほしい  
とは思わない  
の割合の方が高い！

50代以下は  
住み続けてほしいが  
地区平均以下



3~6割がわからない

これからの取り組み次第！

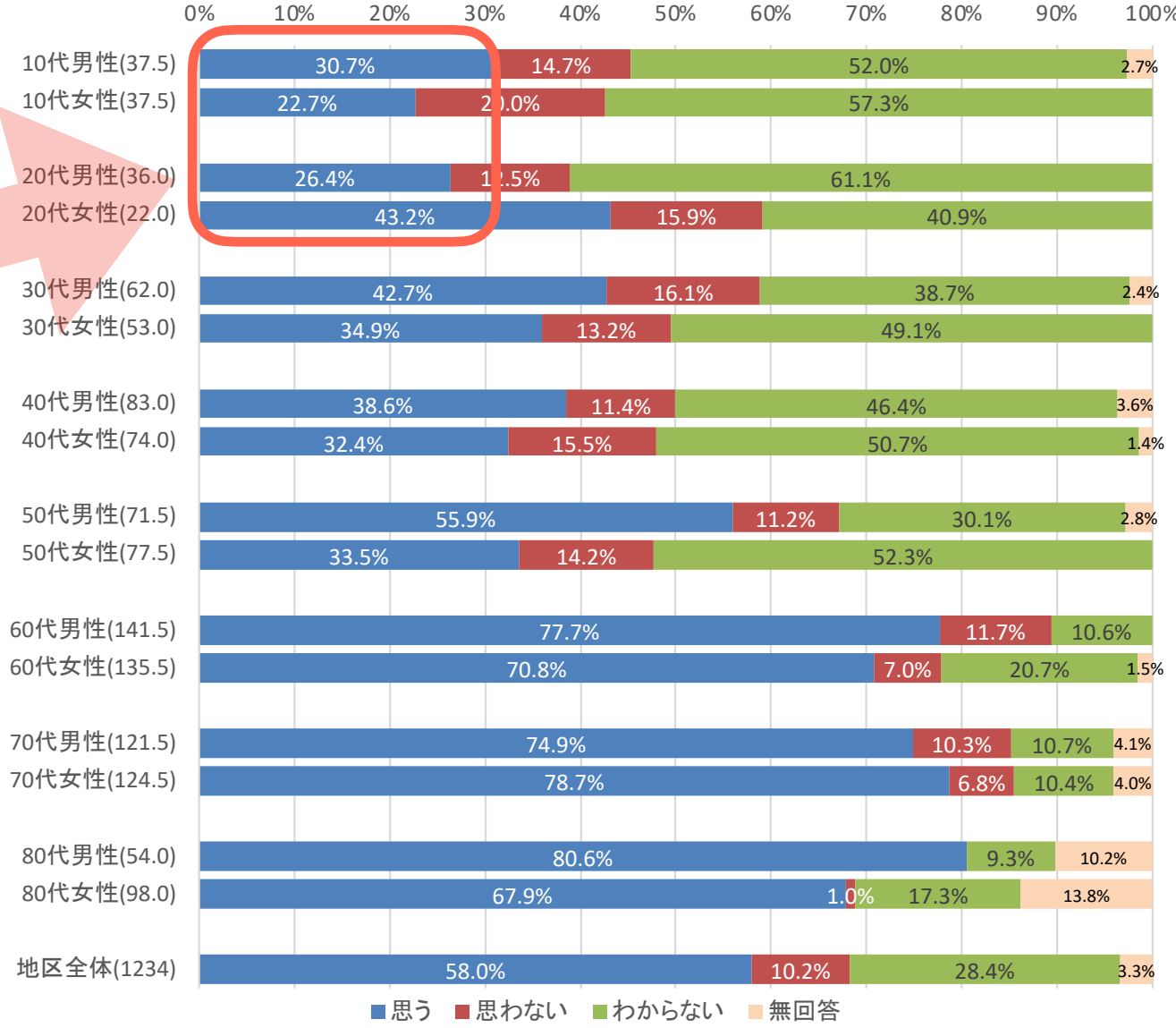
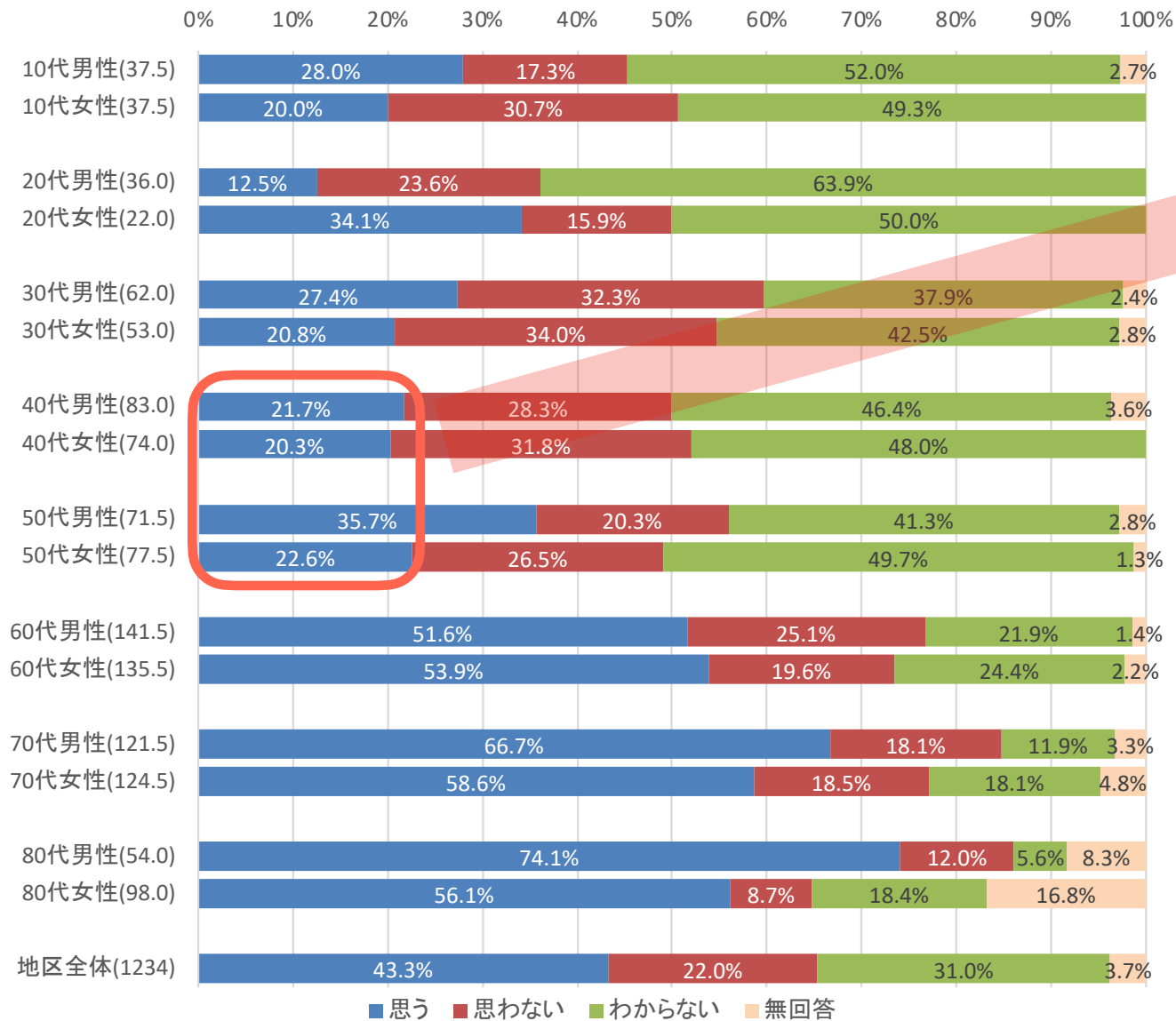
地域全体では「住み続けてほしい」は4割以上

親世代 (40~50代) は  
「住み続けてほしい」の割合が地区平均以下

子ども世代 (10~20代) は  
「住み続けたい」の割合が地区平均の半分以下

自分の子どもにも住み続けてほしいと思うか？ (年代別×男女別)

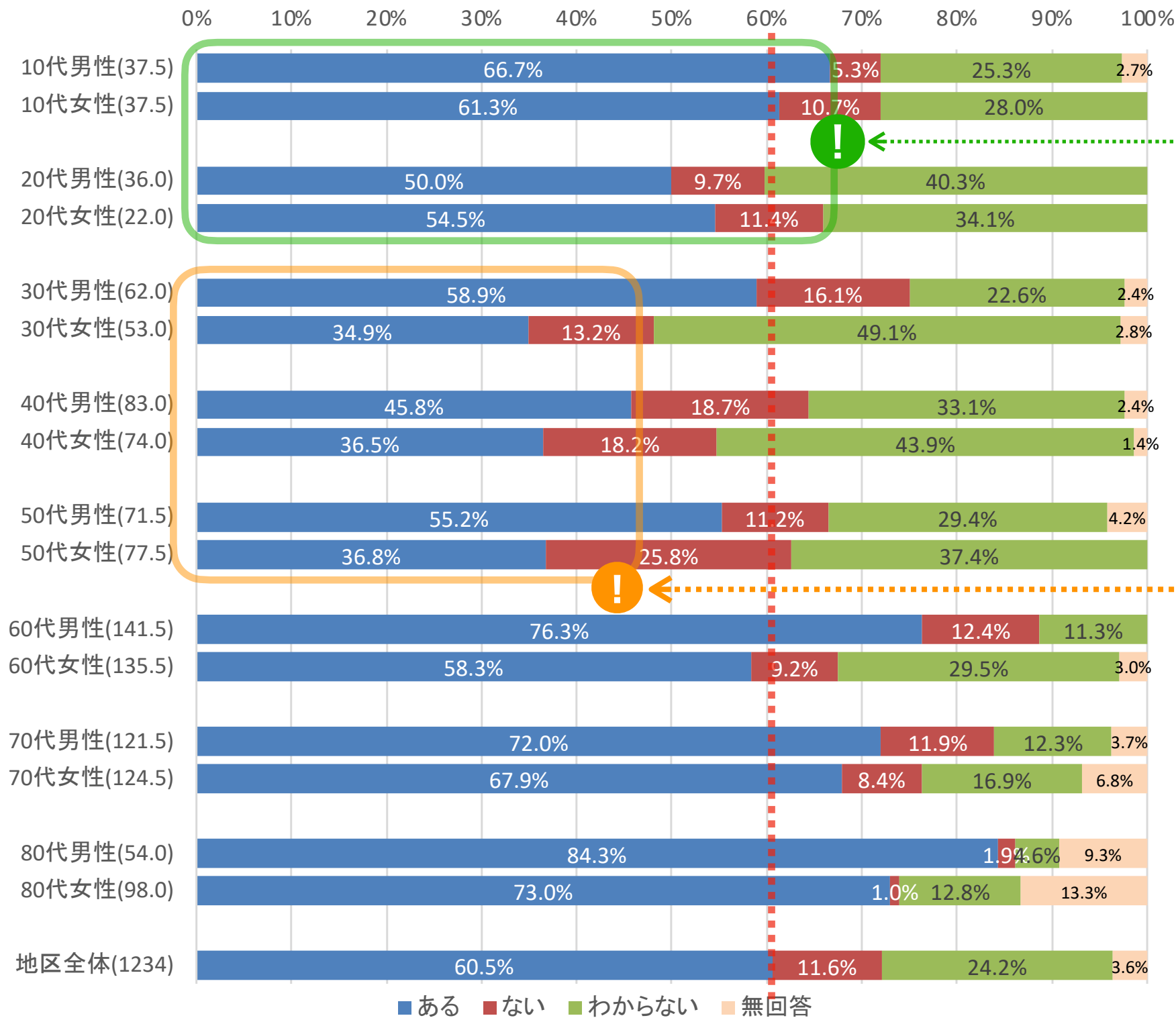
この地域に住み続けたいと思うか？ (年代別×男女別)



親世代の意向が、子世代に影響していませんか!?

# 地域への愛着の有無 (年代別×男女別)

村上市猿沢地域 (2021)



10~20代は  
5~6割が愛着がある

愛着はあっても  
定住意向が低い  
のは...

将来への希望・  
安心感が足りない!?

30~50代は  
地区平均よりも低い

特に女性

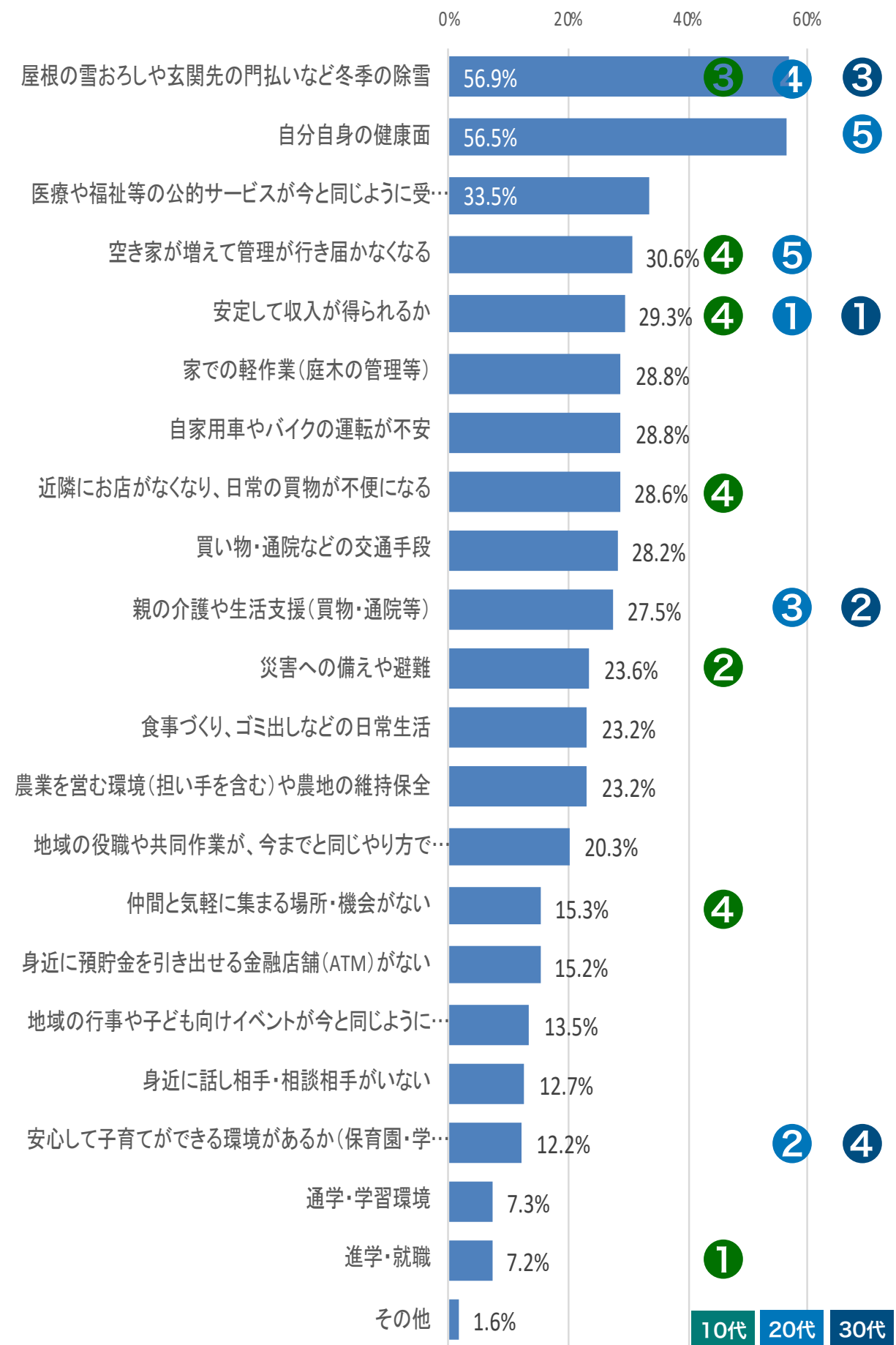
地域全体では「愛着がある」が2/3

# 10年後の心配ごと (複数回答)

10代	
1	進学・就職に関すること 30.7%
2	災害への備えや避難に関すること 29.3%
3	屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪のこと 25.3%
4	空き家が増えて管理が行き届かなくなること 安定して収入が得られるか 近隣にお店がなくなり、日常の買物が不便になること 仲間と気軽に集まる場所・機会がないこと 24.0%

20代	
1	安定して収入が得られるか 43.1%
2	安心して子育てができる環境があるか(保育園・学校／親同士の交流等) 34.5%
3	親の介護や生活支援(買物・通院等)のこと 32.8%
4	屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪のこと 25.9%
5	空き家が増えて管理が行き届かなくなること 24.1%

30代	
1	安定して収入が得られるか 50.4%
2	親の介護や生活支援(買物・通院等)のこと 47.8%
3	屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪のこと 47.0%
4	安心して子育てができる環境があるか(保育園・学校／親同士の交流等) 36.5%
5	自分自身の健康面のこと 33.0%



地域全体 (複数回答)



# 10年後の心配ごと (複数回答)

40代

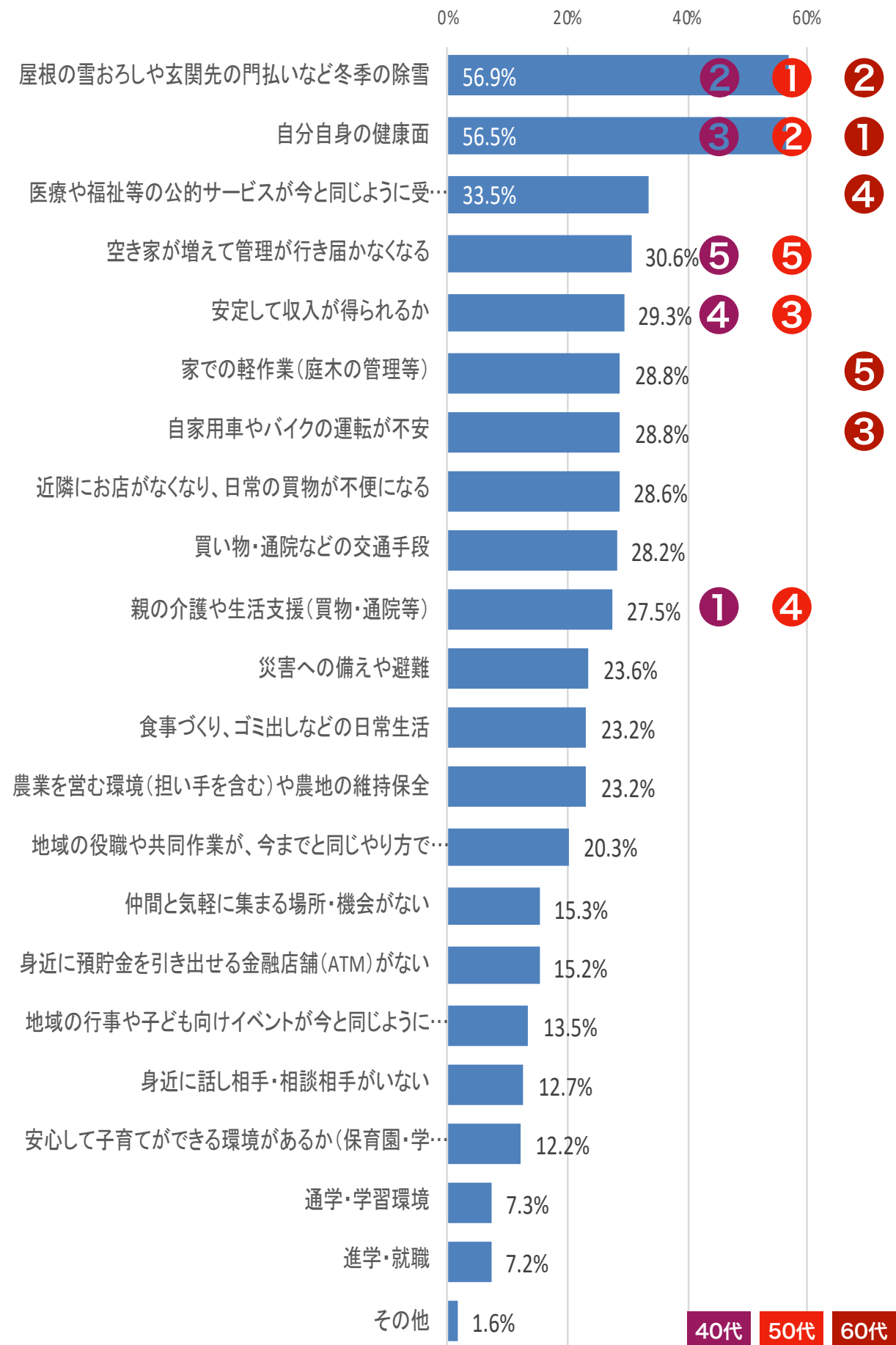
40代		
1	親の介護や生活支援(買物・通院等)のこと	51.0%
2	屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪のこと	42.7%
3	自分自身の健康面のこと	40.8%
4	安定して収入が得られるか	37.6%
5	空き家が増えて管理が行き届かなくなること	28.0%

50代

50代		
1	屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪のこと	58.4%
2	自分自身の健康面のこと	57.7%
3	安定して収入が得られるか	44.3%
4	親の介護や生活支援(買物・通院等)のこと	41.6%
5	空き家が増えて管理が行き届かなくなること	34.2%

60代

60代		
1	自分自身の健康面のこと	71.5%
2	屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪のこと	70.0%
3	自家用車やバイクの運転が不安になること	43.0%
4	医療や福祉等の公的サービスが今と同じように受けられるか	41.9%
5	家での軽作業(庭木の管理等)のこと	36.8%



地域全体 (複数回答)

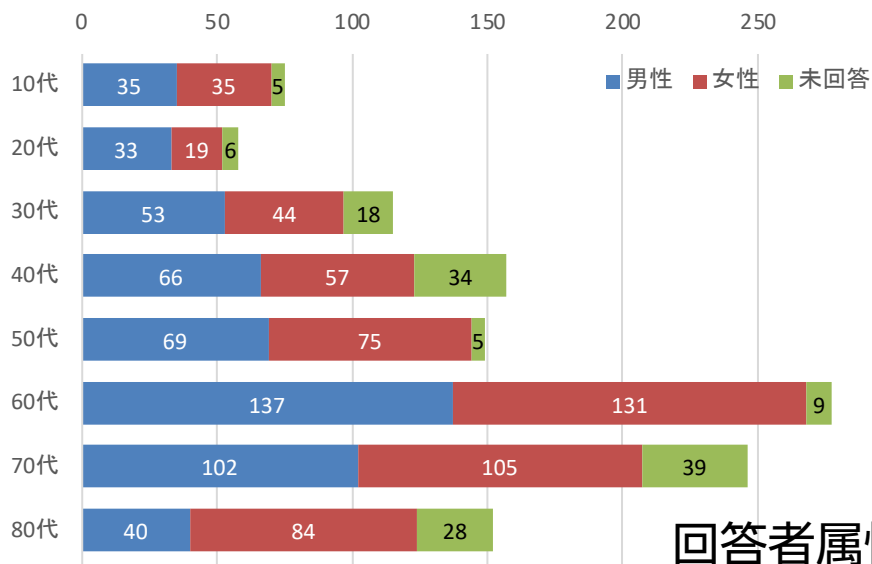
# 10年後の心配ごと (複数回答)

70代

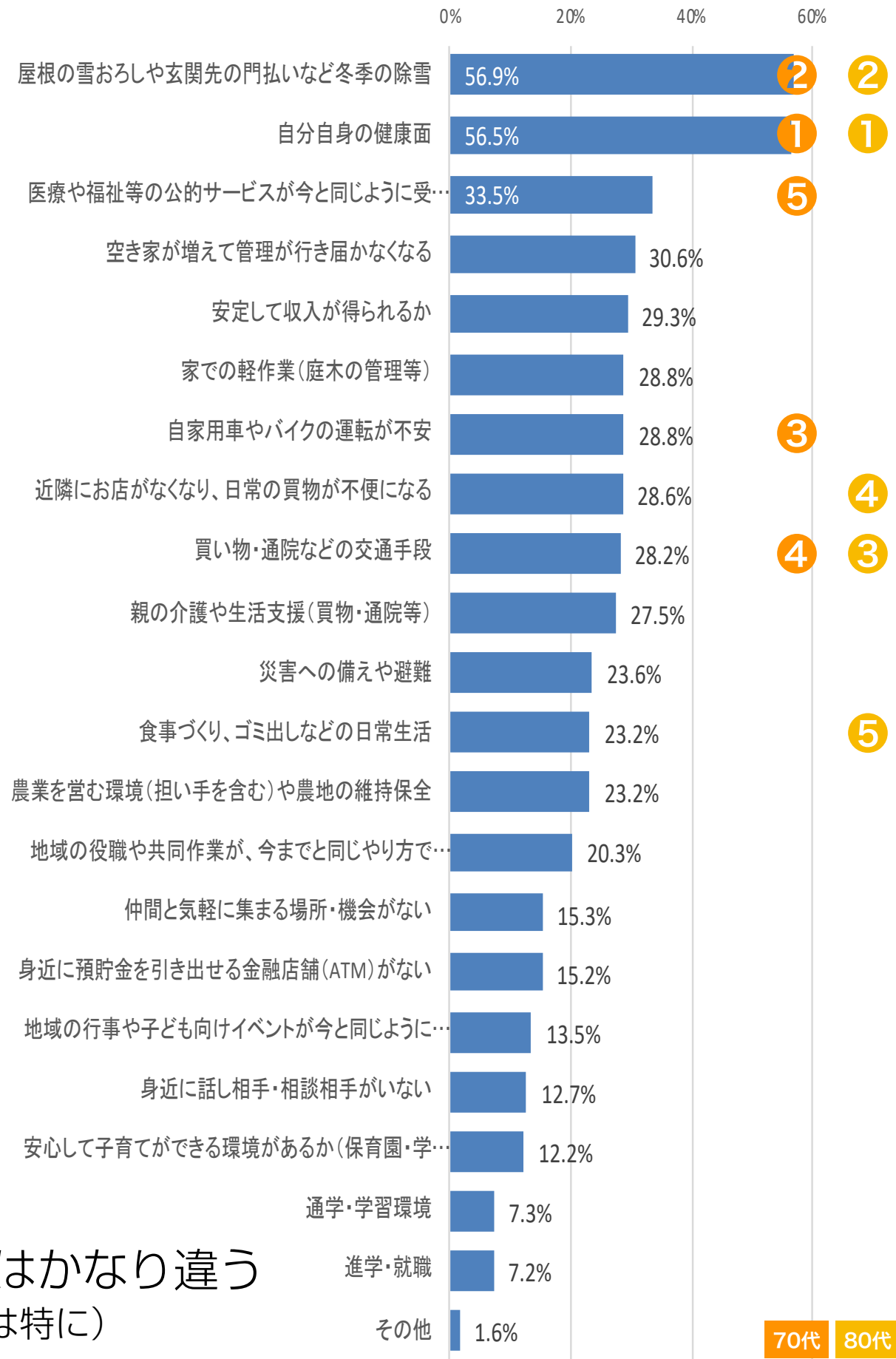
70代		
1	自分自身の健康面のこと	76.8%
2	屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪のこと	71.5%
3	自家用車やバイクの運転が不安になること	54.1%
4	買い物・通院などの交通手段に関すること	49.2%
5	医療や福祉等の公的サービスが今と同じように受けられるか	43.9%

80代

80代		
1	自分自身の健康面のこと	65.8%
2	屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪のこと	56.6%
3	買い物・通院などの交通手段に関すること	44.1%
4	近隣にお店がなくなり、日常の買物が不便になること	42.8%
5	食事づくり、ゴミ出しなどの日常生活のこと	41.4%



年代によって順番はかなり違う  
(人数の少ない若年層は特に)



地域全体 (複数回答)

70代 80代



# 10年後の不安・心配ごと (まとめ)

村上市猿沢地域 (2021)

**第1位 屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪 56.9%**

大半の世代で上位にランクイン (50代ではトップ)

→若い世代でも除雪を気に掛けている・60代以下は担い手不足への懸念

**第2位 自分自身の健康面 56.5%**

30代以上の世代で上位にランクイン (60代以上ではトップ)

→若い世代でも健康面を気に掛けている

**第3位 医療や福祉等の公的サービスが今と同じように受けられるか 33.5%**

60代以上で上位にランクイン

→今のままでは安心できない?

**第4位 空き家が増えて管理が行き届かなくなること 30.6%**

50代以下の世代で上位にランクイン →隣近所が空き家になることへの不安?

**第5位 安定して収入が得られるか 29.3%**

50代以下の世代で上位にランクイン →現役世代は将来への不安感が大きい

# 10年後の不安・心配ごと (まとめ)

村上市猿沢地域 (2021)

全体での順位は  
高くはないが、  
**高齢世代**  
特有の困りごと

**第7位 自家用車やバイクの運転が不安 28.8%**

【60～70代】 第3位 →交通弱者予備軍という認識を持っている

**第9位 買物・通院などの交通手段に関すること 28.2%**

【70代】 第4位 【80代】 第3位 →運転ができなくなったときの不安

**第12位 食事づくり、ゴミ出しなどの日常生活 23.2%**

【80代】 第5位 →日常生活でのちょっとした手助けの必要性がさらに増す

**第8位 近隣にお店がなくなり、日常の買物が不便になること 28.6%**

【10代・80代】 第4位 →暮らしやすさへの不安

**第10位 親の介護や生活支援（買物・通院等）のこと 27.5%**

【20代】 第3位 【30代】 第2位 【40代】 第1位 【50代】 第4位  
→若者・中堅世代にとっては、かなり切実な不安・心配ごと

第16位 仲間と気軽に集まる  
場所・機会がないこと 15.3%

【10代】 第4位

第19位 安心して子育てできる  
環境があるか 12.2%

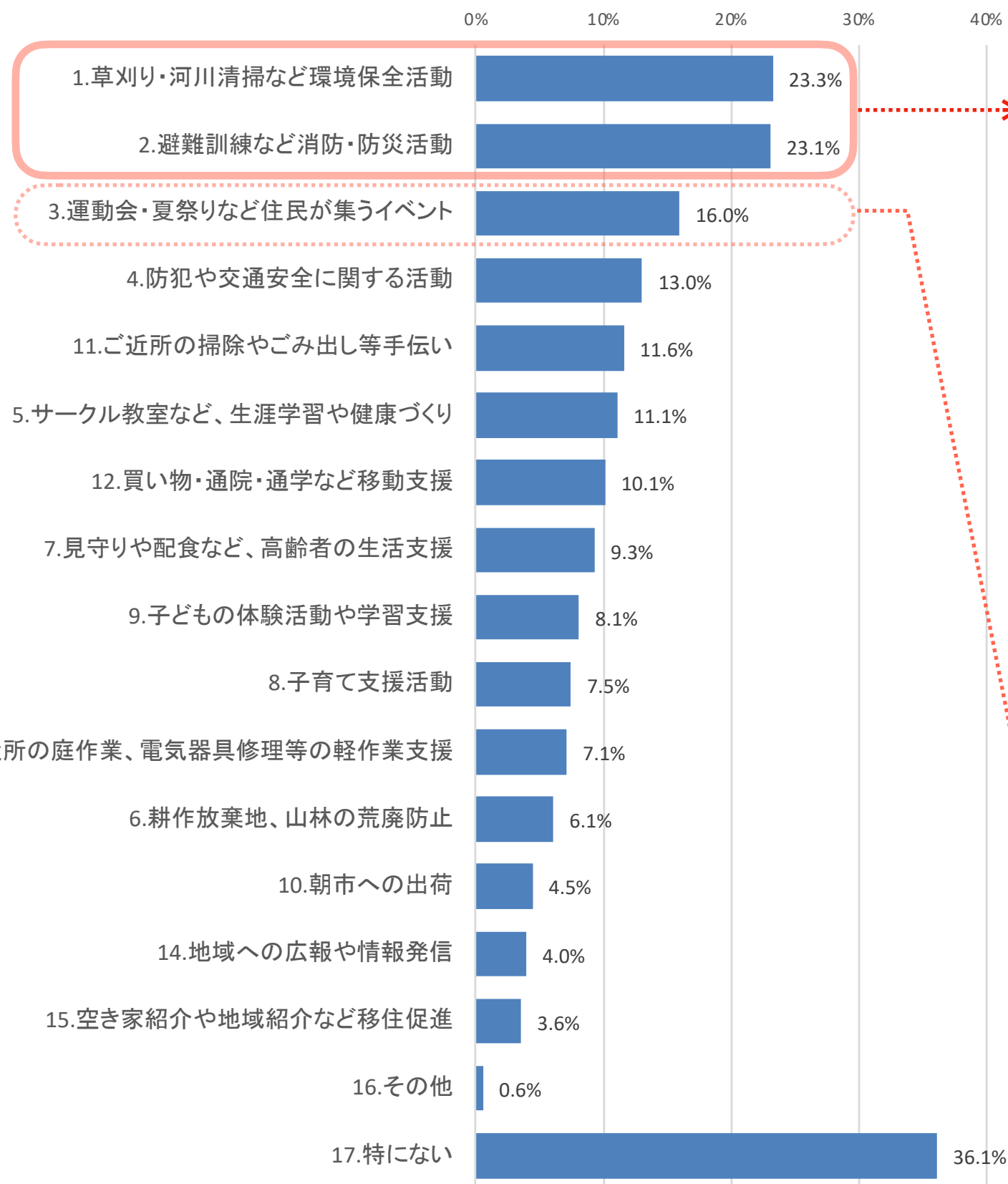
【20代】 第2位  
【30代】 第4位

第21位 進学・就職に関すること 7.2%

【10代】 第1位

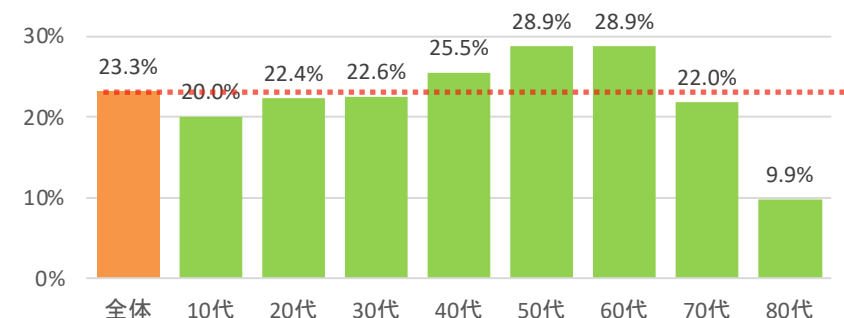
全体での順位は  
高くはないが、  
**若年・中堅  
世代**

特有の困りごと

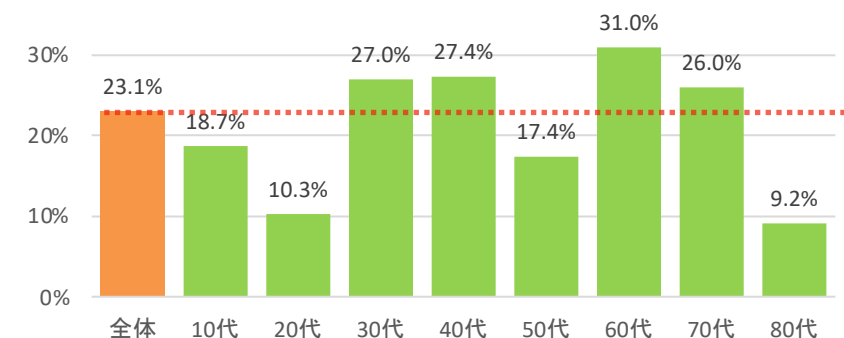


**草刈り・河川清掃と消防・防災活動は2割が協力できる**

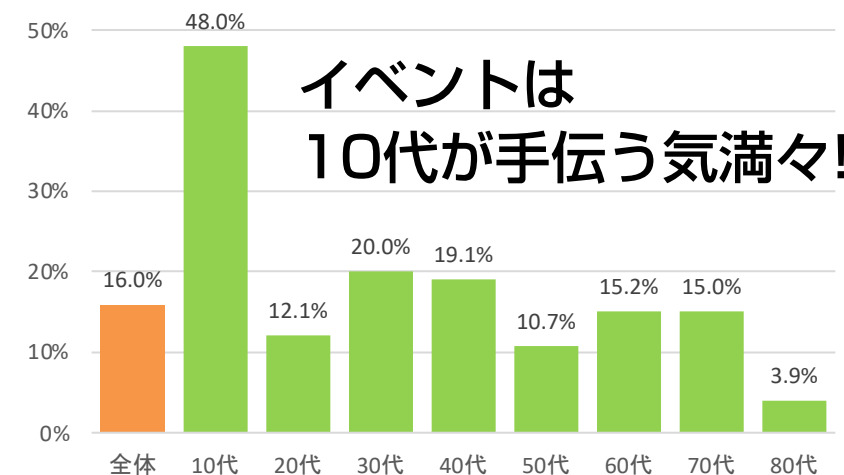
草刈り・河川清掃など環境保全活動 (年代別集計)



避難訓練など消防・防災活動 (年代別集計)

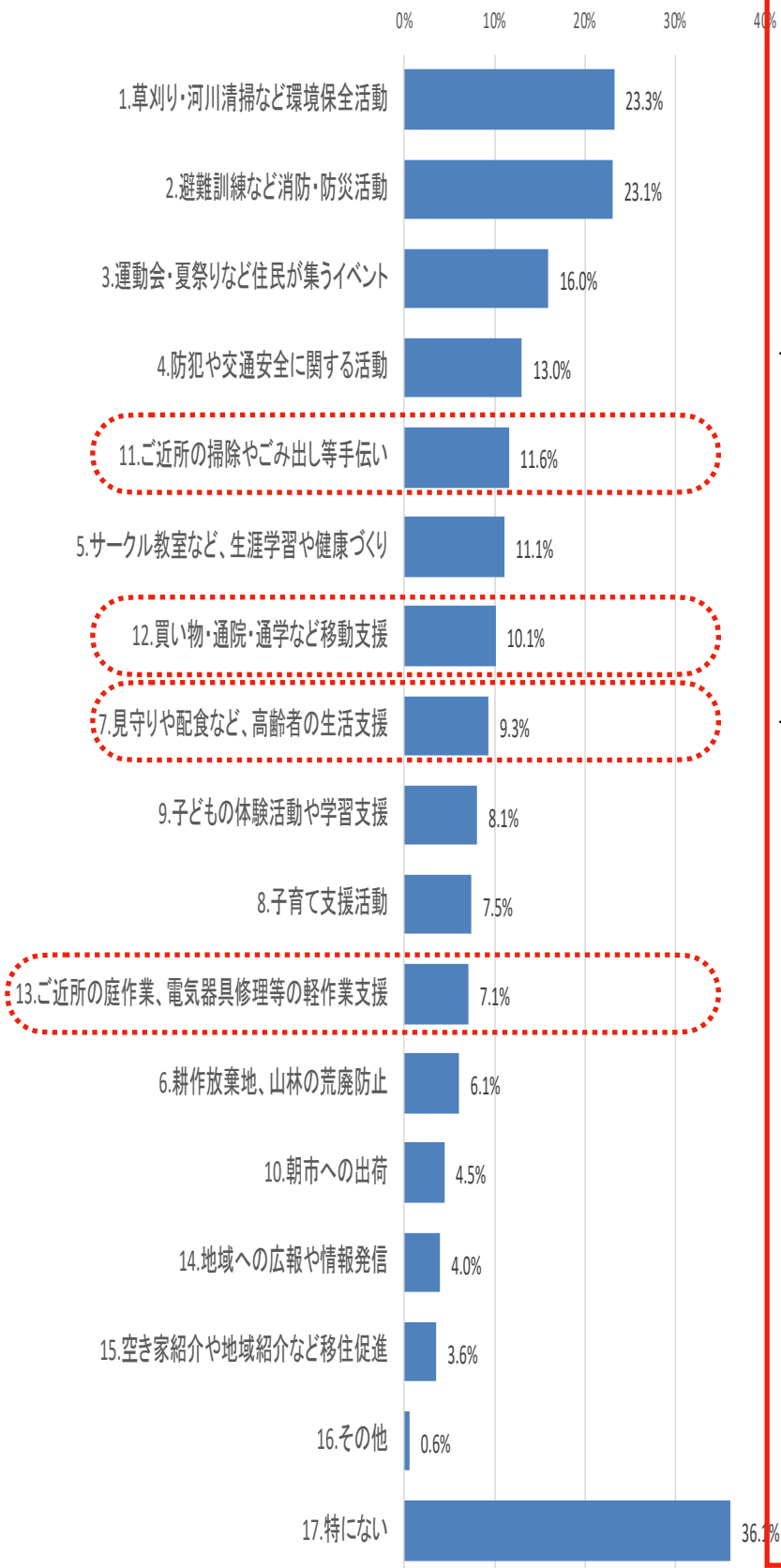


運動会・夏祭りなど住民が集うイベント (年代別集計)



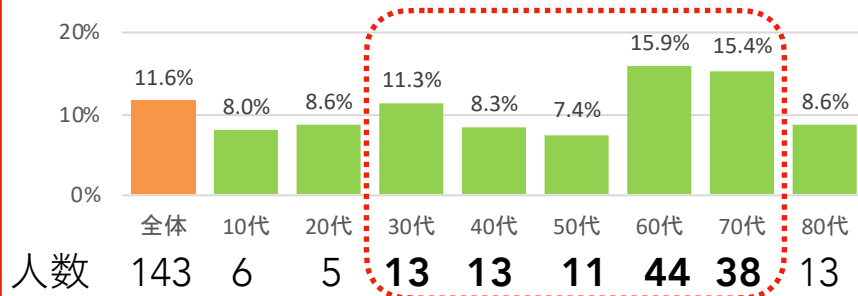
この2つは幅広い年代層の協力が見られる

# やってみたい・協力できること（猿沢）

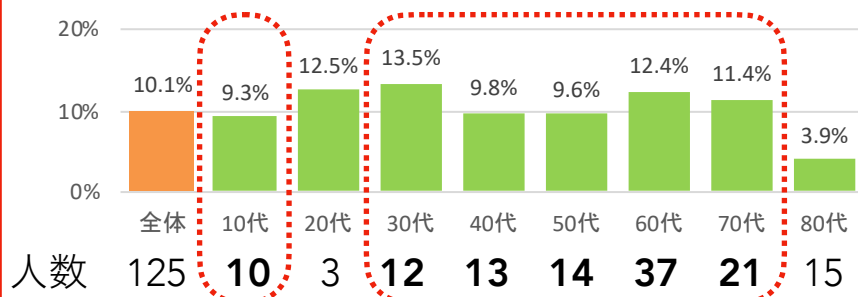


地域全体（複数回答）

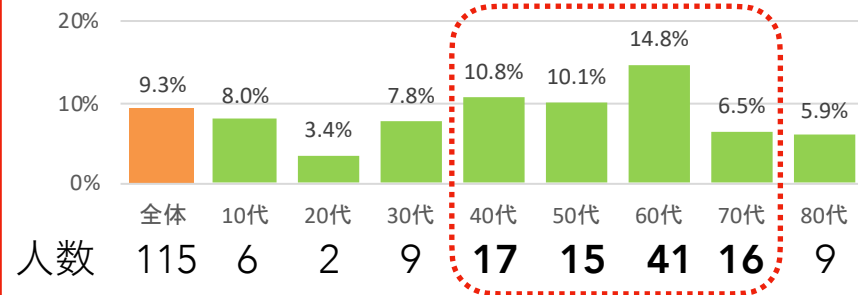
## ご近所の掃除やごみ出し等手伝い（年代別集計）



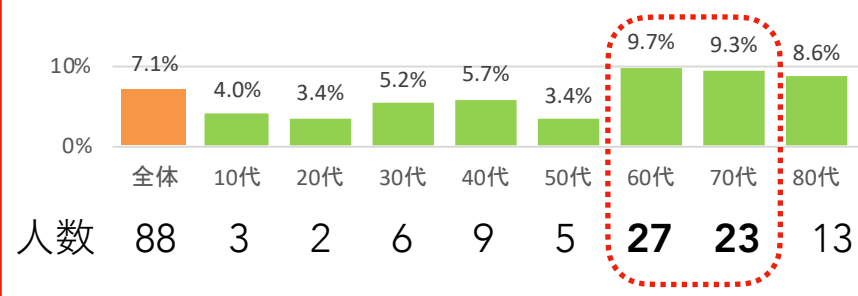
## 買い物・通院・通学など移動支援（年代別集計）



## 見守りや配食など、高齢者の生活支援（年代別集計）



## ご近所の庭作業、電気器具修理等の軽作業支援

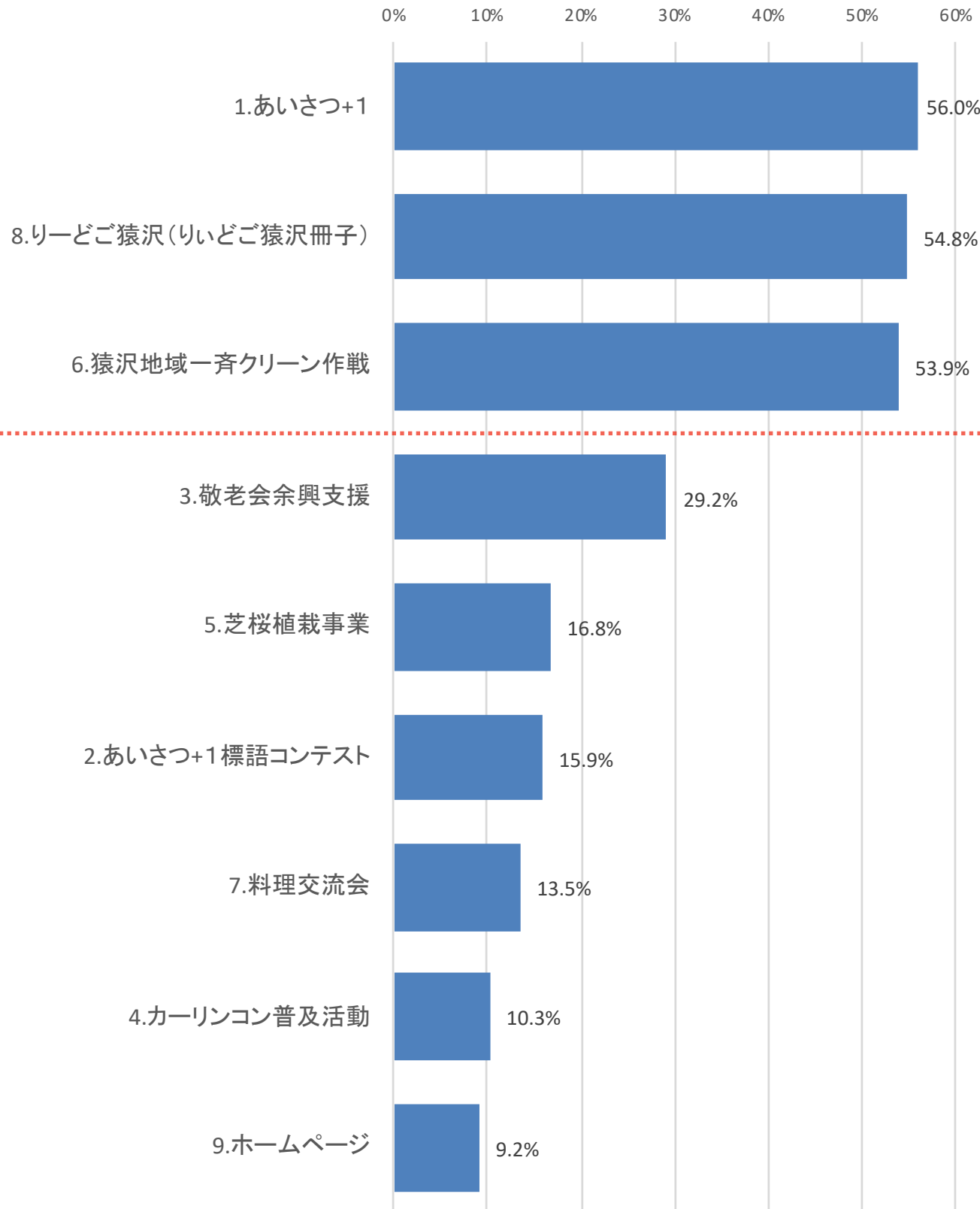


各年代に協力できる  
という人が一定数いる

# まちづくり協議会事業の認知度

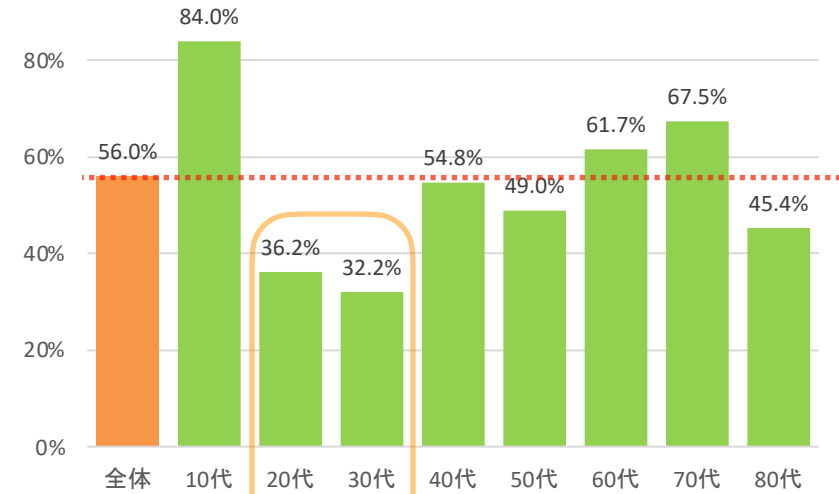
村上市猿沢地域 (2021)

半数以上が知っている

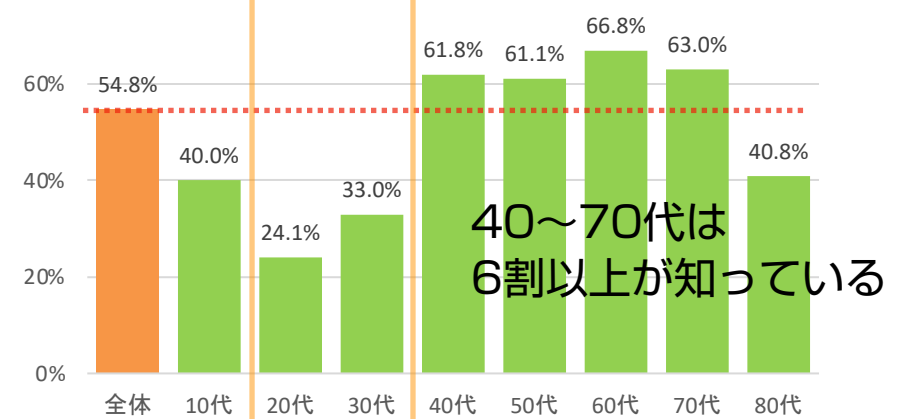


地域全体 (複数回答)

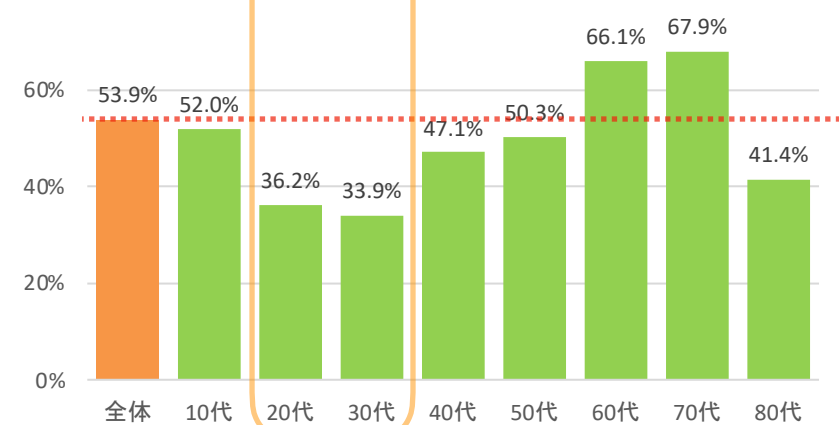
## あいさつ+1の認知度



## りーどご猿沢(りいどご猿沢冊子)の認知度



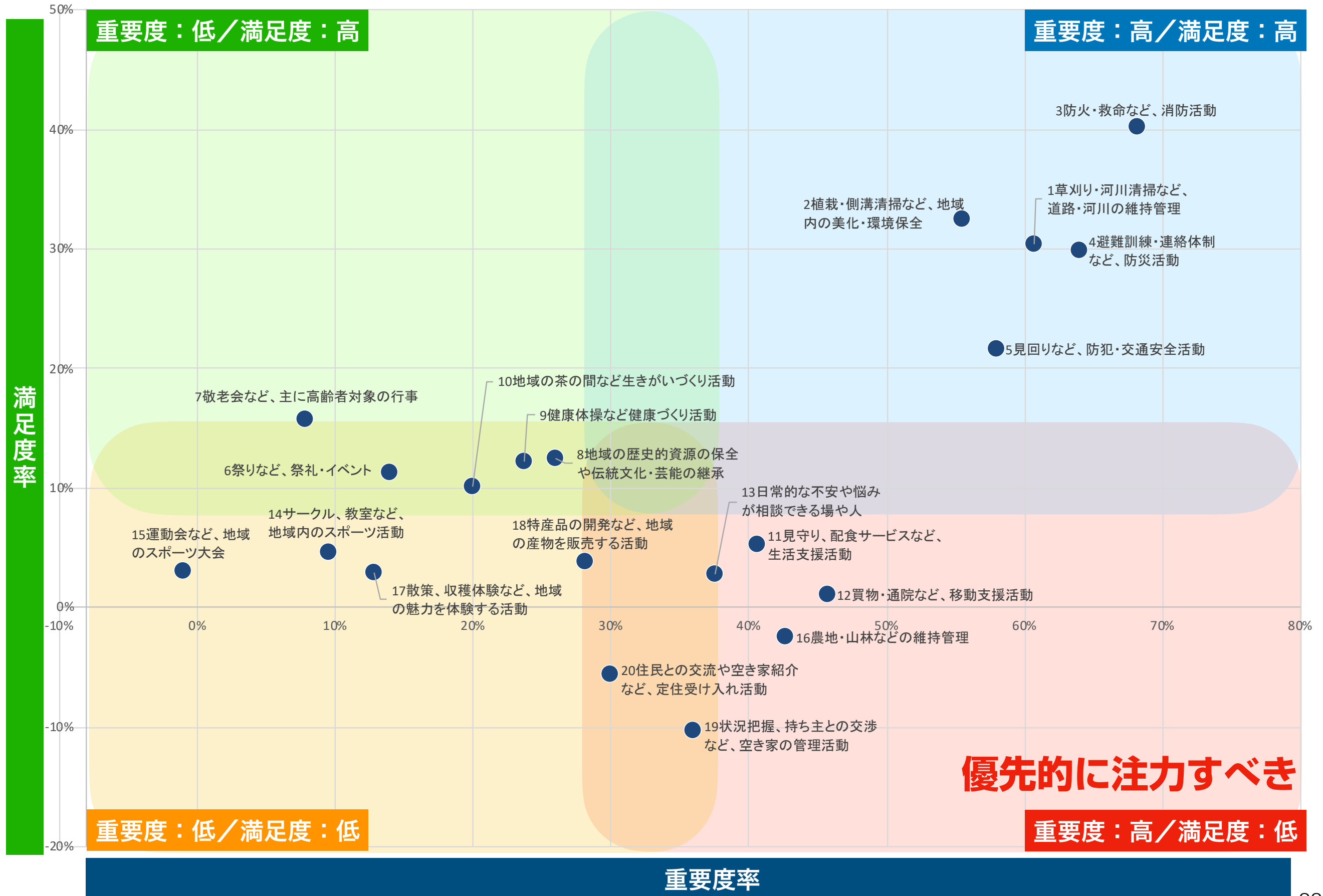
## 猿沢地域一斉クリーン作戦の認知度



20~30代の認知度は地区平均以下

# 取り組みの満足度と重要度

村上市猿沢地域（2021）

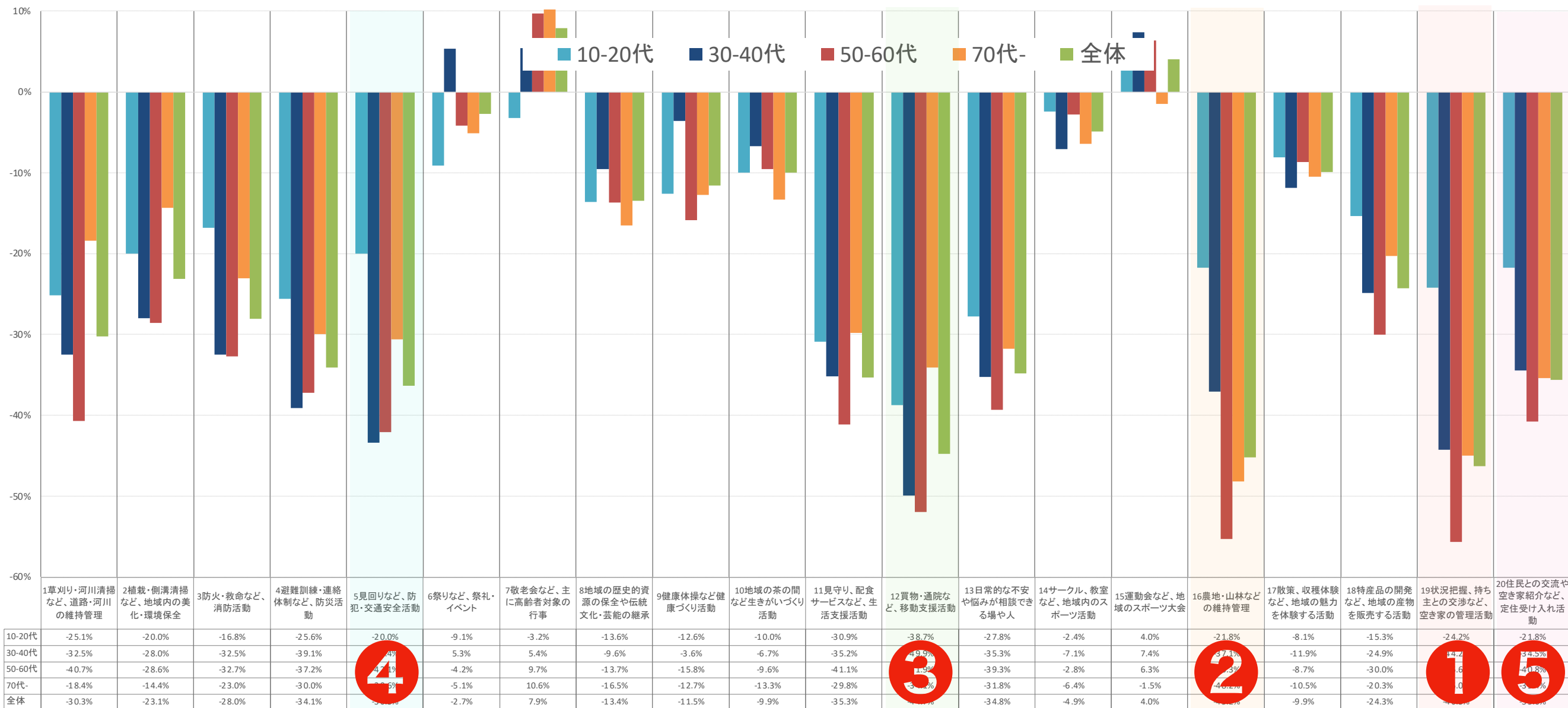




# 取り組みの満足度と重要度の評価（年代別）

村上市猿沢地域（2021）

※グラフが下に伸びているほど、満足度と重要度のギャップがある（＝現状では満足しておらず、これからは重要だと思う）項目



**1** 状況把握、持ち主との交渉など**空家の管理**活動

**2** **農地・山林**などの維持管理

**3** 買物・通院など、**移動支援**活動

**4** 見回りなど、**防犯・交通安全**活動

**5** 住民との交流や**空き家紹介**など**定住受け入れ**活動

◎将来を見据え、これから重点的に取り組むべきだと考えられている上位5つ

# 取り組みの満足度と重要度の評価 (年代別)

村上市猿沢地域 (2021)

これからの地域づくりで大切だと思っっているテーマ・年代別ランキング

	全体	10-20代	30-40代	50-60代	70代-
1	状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -46.3%	買物・通院など、移動支援活動 -38.7%	買物・通院など、移動支援活動 -49.9%	状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -55.6%	農地・山林などの維持管理 -48.2%
2	農地・山林などの維持管理 -45.2%	見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -30.9%	状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -44.2%	農地・山林などの維持管理 -55.3%	状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -45.0%
3	買物・通院など、移動支援活動 -44.7%	日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -27.8%	見回りなど、防犯・交通安全活動 -43.4%	買物・通院など、移動支援活動 -51.9%	住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -35.4%
4	見回りなど、防犯・交通安全活動 -36.3%	避難訓練・連絡体制など、防災活動 -25.6%	避難訓練・連絡体制など、防災活動 -39.1%	見回りなど、防犯・交通安全活動 -42.1%	買物・通院など、移動支援活動 -34.1%
5	住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -35.6%	草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -25.1%	農地・山林などの維持管理 -37.1%	見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -41.1%	日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -31.8%
6	見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -35.3%	状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -24.2%	日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -35.3%	住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -40.8%	見回りなど、防犯・交通安全活動 -30.6%
7	日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -34.8%	農地・山林などの維持管理 -21.8%	見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -35.2%	草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -40.7%	避難訓練・連絡体制など、防災活動 -30.0%
8	避難訓練・連絡体制など、防災活動 -34.1%	住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -21.8%	住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -34.5%	日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -39.3%	見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -29.8%
9	草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -30.3%	見回りなど、防犯・交通安全活動 -20.0%	草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -32.5%	避難訓練・連絡体制など、防災活動 -37.2%	防火・救命など、消防活動 -23.0%
10	防火・救命など、消防活動 -28.0%	植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -20.0%	防火・救命など、消防活動 -32.5%	防火・救命など、消防活動 -32.7%	特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -20.3%
11	特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -24.3%	防火・救命など、消防活動 -16.8%	植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -28.0%	特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -30.0%	草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -18.4%
12	植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -23.1%	特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -15.3%	特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -24.9%	植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -28.6%	地域の歴史的資源の保全や伝統文化・芸能の継承 -16.5%
13	地域の歴史的資源の保全や伝統文化・芸能の継承 -13.4%	地域の歴史的資源の保全や伝統文化・芸能の継承 -13.6%	散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -11.9%	健康体操など健康づくり活動 -15.8%	植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -14.4%
14	健康体操など健康づくり活動 -11.5%	健康体操など健康づくり活動 -12.6%	地域の歴史的資源の保全や伝統文化・芸能の継承 -9.6%	地域の歴史的資源の保全や伝統文化・芸能の継承 -13.7%	地域の茶の間など生きがいがづくり活動 -13.3%
15	地域の茶の間など生きがいがづくり活動 -9.9%	地域の茶の間など生きがいがづくり活動 -10.0%	サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -7.1%	地域の茶の間など生きがいがづくり活動 -9.6%	健康体操など健康づくり活動 -12.7%
16	散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -9.9%	祭りなど、祭礼・イベント -9.1%	地域の茶の間など生きがいがづくり活動 -6.7%	散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -8.7%	散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -10.5%
17	サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -4.9%	散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -8.1%	健康体操など健康づくり活動 -3.6%	祭りなど、祭礼・イベント -4.2%	サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -6.4%
18	祭りなど、祭礼・イベント -2.7%	敬老会など、主に高齢者対象の行事 -3.2%	祭りなど、祭礼・イベント 5.3%	サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -2.8%	祭りなど、祭礼・イベント -5.1%
19	運動会など、地域のスポーツ大会 4.0%	サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -2.4%	敬老会など、主に高齢者対象の行事 5.4%	運動会など、地域のスポーツ大会 6.3%	運動会など、地域のスポーツ大会 -1.5%
20	敬老会など、主に高齢者対象の行事 7.9%	運動会など、地域のスポーツ大会 4.0%	運動会など、地域のスポーツ大会 7.4%	敬老会など、主に高齢者対象の行事 9.7%	敬老会など、主に高齢者対象の行事 10.6%

40代以下と50代以上で傾向が若干異なる



◎将来を見据え、これから重点的に取り組むべきだと考えられている項目上位5つ

## ①状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動

大半の年代でこの必要性を強く感じている。（30代以上は特に）

## ②農地・山林などの維持管理

50代以上がこの必要性を強く感じている

## ③買物・通院など、移動支援活動

30代以上がこの必要性を強く感じている。

→送迎される側だけでなく、送迎する側も切実に求めている!?

## ④見回りなど、防災・交通安全活動

30代以上がこの必要性を強く感じている。

## ⑤住民との交流や空き家紹介など定住受入活動

30代以上がこの必要性を強く感じている。

## ☑ 60～80代の3～4割が単身もしくは夫婦のみ世帯


- ▶ 10年後の不安・心配ごととして「食事、ゴミ出しなどの日常生活」が80代のみ上位にランクイン。
- ▶ これから重点的に取り組むべきテーマとして、全世代で「買物・通院など移動支援活動」が上位にランクイン。

## ☑ 送迎する側の人数が減少すると、日常生活での移動が困難になる人の数は確実に増加

- ▶ 80代になると自分で車を運転する人の割合が減少し、送迎が主な移動手段になる。
- ▶ 10年後の不安・心配ごととして、60～70代は「自家用車やバイクの運転が不安」が上位にランクイン。

## ☑ 農業従事者の89.3%が60代以上

- ▶ このままだと20年後には40人（現在の3割程度）



高齢者のみ世帯が一定数存在しており、生活支援・移動支援へのニーズは、今後確実に見込まれる。



将来的な農地の維持管理は大丈夫か？

☑必ずしも「地域活動に参加していない＝関心が無い」という訳ではないではない。

- ▶ すべての年代で「関心あり＋不参加」が3～5割おり、特に女性は「関心があっても参加していない」割合が男性に比べて高い。
- ▶ 20～30代は「関心なし＋不参加」が2～4割いる。

既存のやり方を再点検し、多様な地域活動への関わり方を設けることで参加の可能性があるのでは？

☑20～50代で土曜日が毎週休日であるのは3割前後。日曜日が毎週休日なのは約半数という状況。

- ▶ 働いている世代は、必ずしも土曜日が休日ではない。

この世代の参加を求めらるのであれば、開催日設定の配慮が必要。

☑女性・若者の声を反映する必要性が「ある」と全世代の半数が思っている。

- ▶ 60～70代の男性も6割が必要と回答している。

活動内容に応じて、任せる・声を掛ける対象を工夫するとよいのでは？

☑「環境保全活動」「防災活動」については、全体で2割の人が協力できると回答。

- ▶ この2つは幅広い年代層の協力が得られる可能性大。
- ▶ 30代以下は「イベント」に積極的。

☑️ **地区全体では約6割が「住み続けたい」と思っているが、40代以下は地区平均より低い。**

- ▶️ ただし、「わからない」という回答が40代以下は4~6割いる。

☑️ **「自分の子どもにも住み続けてほしい」と回答は地区全体では4割。ただし、30~50代の子育て世代は地区平均以下。**

- ▶️ 30~40代は「住み続けてほしいとは思わない」と回答している割合の方が高い。ただ、50代以下は半数近くが「わからない」と回答。

☑️ **地区全体では6割が「地域に愛着がある」と回答。**

- ▶️ 定住意向が高くない20代以下も、5~6割が「愛着がある」と回答。ただし30~50代は地区平均より低い。

親世代の意向が子世代に影響している可能性大。

「わからない」が多いということは、これからの取り組み次第！

愛着があっても定住意向が低いのは、将来への希望・安心感が足りていないことが要因ではないか。

## ☑ 10年後の心配ごと・不安のトップ5は、

- ① 屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪
- ② 自分自身の健康面
- ③ 医療や福祉等の公的サービスが今と同じように受けられるか
- ④ 空き家が増えて管理が行き届かなくなること
- ⑤ 安定して収入が得られるか



## ☑ 今後、重点的に取り組むべきテーマトップ5は、

- ① 状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動
- ② 農地・山林などの維持管理
- ③ 買物・通院など、移動支援活動
- ④ 見回りなど、防犯・交通安全活動
- ⑤ 住民との交流や空き家紹介など定住受け入れ活動



心配ごとは上位にランキングされている内容に世代間の差はあまりない。

ただ、40代以下と50代以上では、若干意向が異なっている。